



OIL COOLING UNIT

オイルコン

AKZJ 8 SERIES

新冷媒R410A対応

ダイキン独自の超省エネ技術・IPMモータを採用  
さらに進化したインバータオイルコン



8 SERIES



AKZJ8シリーズ  
(浸漬形)

## INDEX

配管系統図  
形式記号説明 P1~2

### AKZJ 8シリーズ

特長 P3~4

仕様・使用範囲 P5~6

外形寸法図 P7~16

冷却能力特性図 P17~18

### 補足資料

電気配線接続要領図  
電気配線図 P19~20

取扱い注意事項 P21~22

オイルコンの選定方法  
来歴表 P23~24

据付寸法図  
フロン回収法 P25~26

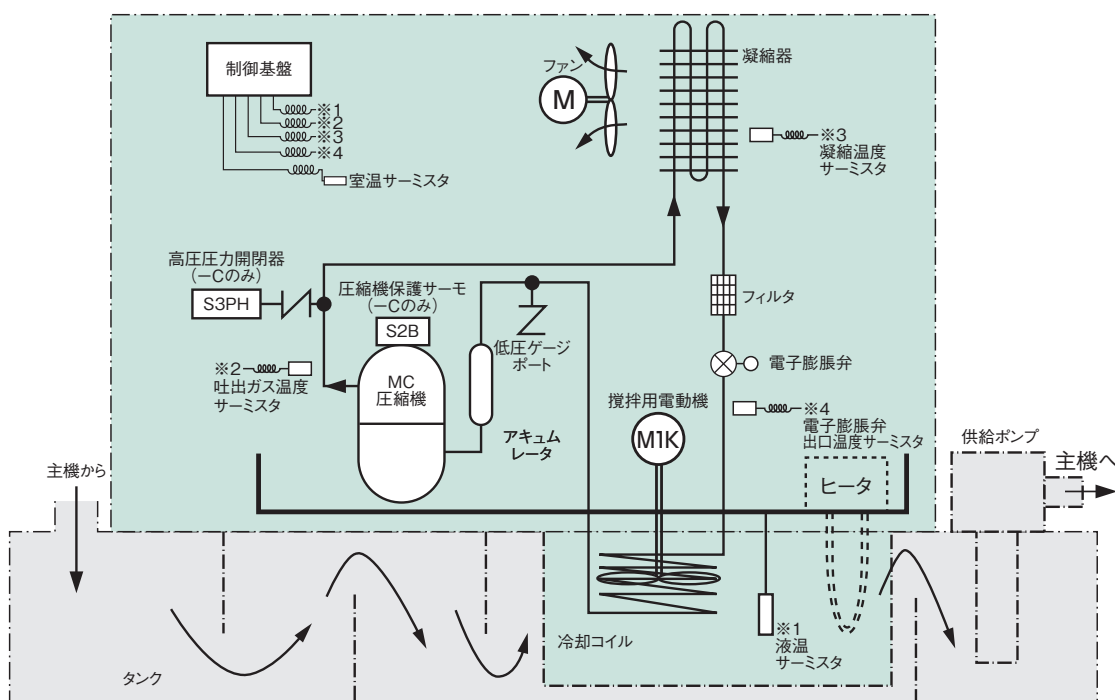
「油圧技術」と「インバータ技術」を融合し、  
さらに進化した高精度温調・超省エネを実現。  
また汎用的な個別仕様をメニュー化することにより、  
短納期対応をも可能にしました。

ダイキンは、生産現場における省エネルギー、リサイクルによる廃棄物の排出量削減など、  
環境にやさしい製品づくりを実践しています。さらに省エネ、もっと多機能に——。  
空調機に搭載の超省エネ技術・ダイキン独自の高效率IPMモータを採用し、  
さらに進化した省エネインバータ「オイルコン」8シリーズ。  
つねに最高のコンディションで工作機械が稼働できるように…と、  
優れたハイブリッドシステムに支えられた「オイルコン」を通じて、  
わたしたちダイキンの熱き心、その思いが形になった技術力を確かめてください。

# OIL COOLING UNIT

## AKZJ SERIES

### AKZJ シリーズシステム配管系統図



注) 1. [ ]部分は、現地手配工事を示します。  
2. ヒータはAKZJ-Hのみに適用されます。

# 形式記号説明



## 1 標準機種形式(オイルコンの基本タイプ)

AKZJ: 高精度インバータ機、浸漬オープン形  
切削・研削液(油)用

## 2 呼称能力(kW)×10

JIS Z 8601の数値より採用(2桁)  
ex.) 18は呼称能力1.8kWを示します。  
18,35,45,56,90など

## 3 シリーズ記号(モデルチェンジ記号)

6,7,8……

## 4 メニュー記号(B・C・E・H)

汎用的な個別仕様をメニュー化し、都度の個別対応  
要求の不便さをなくし、いままでより短納期で対応します。  
※メニューの組合せは別途ご相談ください。

## 5 個別オーダー記号(英数字4桁)

メニュー以外の個別要求仕様に対応した、非標準仕様。  
※特殊仕様(UL準拠、熱帯処理など)は別途ご相談ください。

## 標準、メニュー、非標準機種への対応内容

### ■AKZJ8(浸漬形)

	標準仕様	メニュー	非標準	備考
低粘度油(液)対応	○			使用油(液)粘度:0.5~200mm/s
タイマー付	○			99時間タイマー
プレーカ付		B		
CE対応		C		欧州安全規格
異電圧(トランス付)		E※		※は右記の1,2,3があります。 E1:AC220,230V 50/60Hz E2:AC380,400,415V 50/60Hz E3:AC440,460,480V 50/60Hz
ヒータ付		H		
指定塗装色			○	
シリアル通信用拡張ボード付			○	AKZJ188,AKZJ358,AKZJ458の標準及び-C,-E※
シリアル/パラレル通信用拡張ボード付			○	AKZJ568,AKZJ908の標準及び-C,-E※

### ■オプション部品

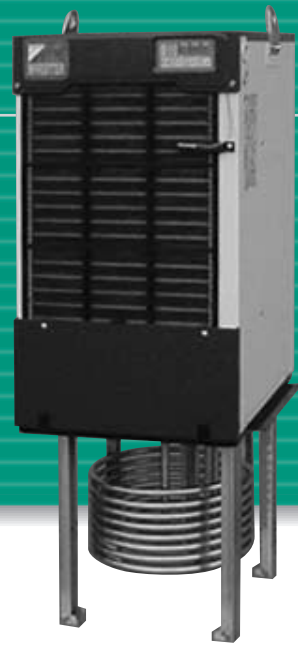
- 機体同調用サーミスタ(リード線長:5m、10m、15m)
- 油温制御用サーミスタ(リード線長:5m、10m)
- 主機通信用拡張ボード(シリアル通信、シリアル/パラレル通信が可能)

オイルコン

OIL COOLING UNIT

# AKZJ8

浸漬形 SERIES



## AKZJ8 概要

■ 圧縮機のインバータ制御と電子膨張弁制御による高精度形

■ 浸漬式オイルコン(タンク上部への直付形) 循環ポンプは付属していません

■ ステンレス製 オープン(開放形)クーラ

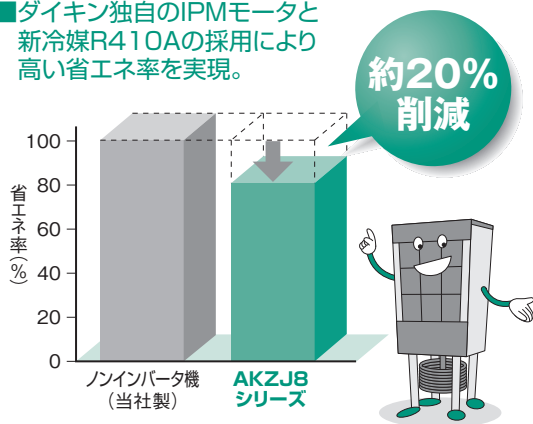
■ 新冷媒R410A(オゾン層破壊係数<sup>ゼロ</sup>)

■ ワイドな使用温度範囲(室温:5~45℃ タンク液温:5~50℃)

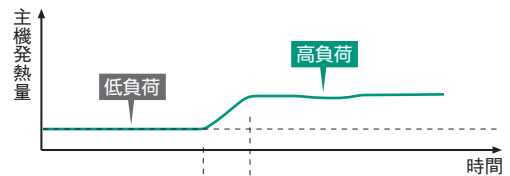
## AKZJ8 特長

### 高い省エネ率を実現

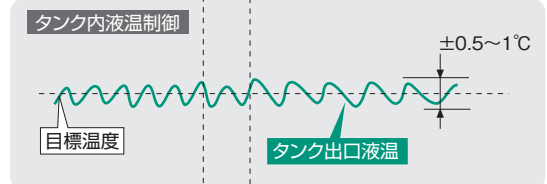
■ ダイキン独自のIPMモータと新冷媒R410Aの採用により高い省エネ率を実現。



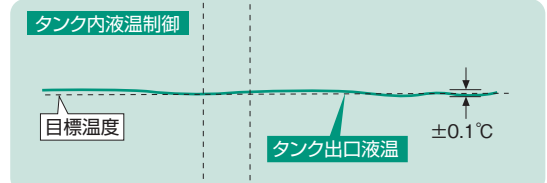
### 高精度温度制御を実現



■ 従来ON/OFF機-AKJ6シリーズ



■ 新インバータ機-AKZJ8シリーズ

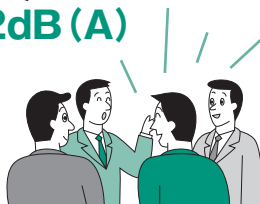


注) 発熱負荷 30~100% 安定時模式図(当社比)

### 低騒音化を実現

AKZJ1.2HPクラスで  
**68dB(A) → 62dB(A)**  
無響室換算値

一般的には騒音レベル60dB(A)の環境で1m離れた人との日常会話が可能と言われています。



■ インバータ制御でつねに機械をより最適な稼働状態に保ち、機械の加工精度を向上させます。



# AKZJ8 特長

## 現行の油温ウォーニング機能に加え 使いやすい新機能を追加

### ■オートチューニング機能

主機を無負荷状態で10～20分運転するだけで温度制御ゲインが自動的に設定されるので、試運転調整時間が大幅に削減。

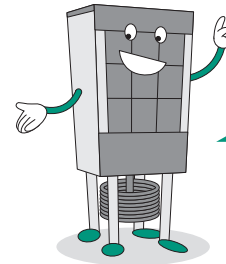
### ■冷媒ガス欠検知機能

冷媒ガス漏れ状態(冷却不能)時にアラーム信号を出力。冷却不能による機械側ダメージを間接的に予防。

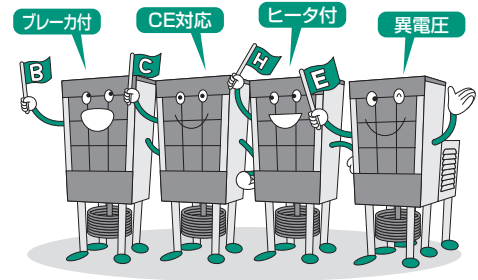
### ■99時間タイマー機能(ONタイマー)

運転開始時間を0～99時間後(1時間単位)で設定可能。

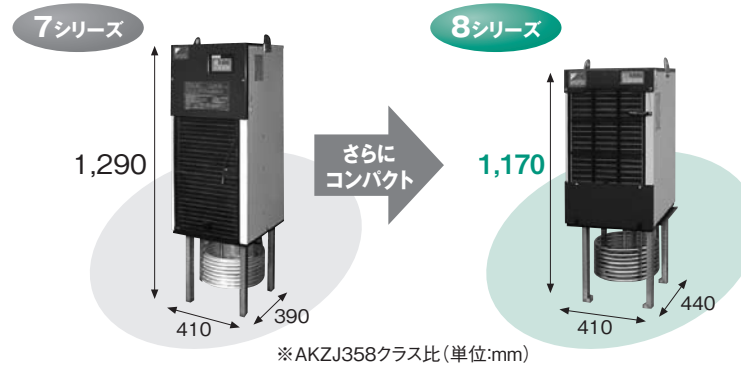
## 標準に加え4種類のメニュー機 今までよりも短納期対応可能



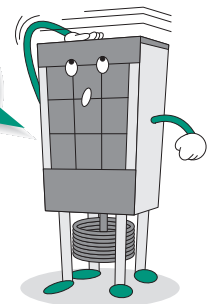
汎用的な  
個別仕様を  
メニュー化  
しました。



## 業界トップクラスの 小形コンパクト設計



業界トップ  
クラス



AKZJ8シリーズ

# AKZJ8 用途

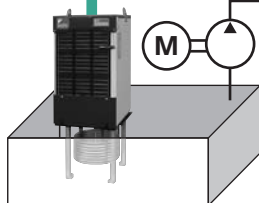
## ■主な用途例

工作機械…マシニングセンタ、NC旋盤、研削盤、  
NC専用機、NC放電加工機など  
産業機械…成形機、プレスなど

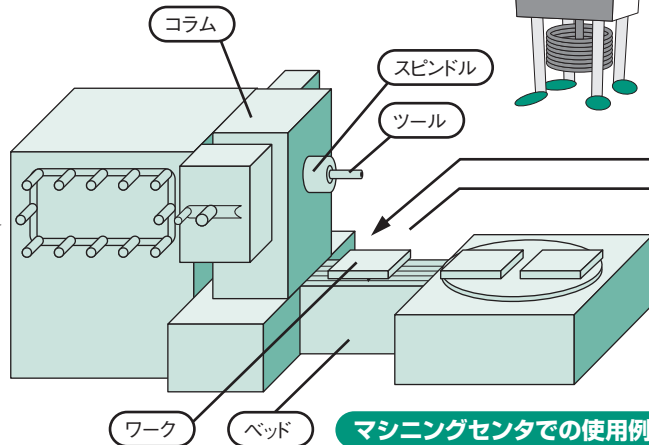
### 作動油冷却

#### 温度(粘度)管理

- 作動油の劣化防止(長寿命化)
- アクチュエータの安定動作



油圧ユニット

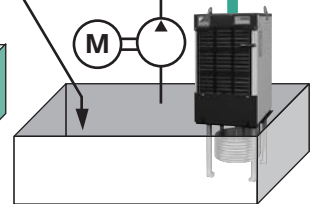


マシニングセンタでの使用例

### 切削油冷却

#### ワークとツールの冷却

- ワークの工作精度アップ
- ツールの長寿命化



クーラントタンク

## 仕様(AKZJ188・358・458)

機種名	0.5					1.2					1.5																																		
	AKZJ188					AKZJ358					AKZJ458																																		
冷却能力(50/60Hz)*1	標準	-B	-C	-H	-E*3	標準	-B	-C	-H	-E*3	標準	-B	-C	-H	-E*3																														
冷却能力(50/60Hz)*1	1.6/1.8					3.2/3.5					4.2/4.5																																		
ヒータ	1					1					1																																		
供給電源*2	3相AC 200/200-220V 50/60Hz					3相AC 200/200-220V 50/60Hz					3相AC 200/200-220V 50/60Hz																																		
回路電圧	主回路					3相AC 200/200-220V 50/60Hz					主回路																																		
	操作回路					DC12/24V					操作回路																																		
最大消費電力	200V 50Hz	1.07kVA/3.1A				※9	1.76kVA/5.2A				※9	1.94kVA/5.7A				※9																													
	200V 60Hz	1.09kVA/3.2A					1.78kVA/5.2A					1.96kVA/5.7A																																	
	220V 60Hz	1.07kVA/2.8A					1.79kVA/4.9A					1.98kVA/5.3A																																	
最大消費電流	※8 200V 50Hz	1.1kVA/5.7A				—	1.2kVA/5.9A				—	1.2kVA/5.9A																																	
	200V 60Hz	1.1kVA/5.6A				—	1.2kVA/5.8A				—	1.2kVA/5.8A																																	
	220V 60Hz	1.3kVA/6.1A				—	1.4kVA/6.3A				—	1.4kVA/6.3A																																	
トランス容量	—					2.2kVA					—																																		
外装色	ホワイト																																												
外形寸法(H×W×D)	980×360×440					980×450×630					1,120×360×440					1,120×450×630																													
圧縮機(全密封DCスイング式)	0.4kW相当					0.75kW相当					1.1kW相当																																		
蒸発器	オープンコイル式																																												
凝縮器	クロスフィンコイル式																																												
プロペラファン	電動機					φ300, 75W					電動機																																		
攪拌機	電動機					1φ, 50W, 4P					電動機																																		
温度調節	同調形 基準 室温、あるいは機体温度*4(工場出荷時セットは、室温:モード3)																																												
(選択可能)	制御対象					タンク液温					制御対象																																		
	同調範囲 K					基準温度に対し、-9.9~+9.9(工場出荷時セットは、0.0)					同調範囲 K																																		
	固定形 制御対象					タンク液温					固定形 制御対象																																		
	範囲 °C					5~50					範囲 °C																																		
冷媒制御	インバータによる圧縮機回転数+電子膨張弁開度																																												
冷媒(新冷媒:R410A)*5 充填量 kg	0.58					0.81					0.99																																		
保護装置	攪拌機インバーサーモ・逆相保護装置・再起動防止タイマー・低室温保護サーモ・高油温保護サーモ・低油温保護サーモ・吐出管温度サーモ・凝縮器温度サーモ・冷媒漏れ検知・インバータ保護装置一式・ノーヒューズブレーカ(-Bのみ)・高圧圧力開閉器(-Cのみ)・圧縮機保護サーモ(-Cのみ)・加熱防止温度サーモ(-Hのみ)・ヒューズ(-Hのみ)																																												
使用範囲 室温 °C	—					5~45					—																																		
タンク液温 °C	—					5~50					—																																		
油粘度 mm/s	—					0.5~200					—																																		
使用可能油	水溶性切削・研削液、切削・研削油、潤滑油、油圧作動油、工業用水(但し、薬品・食品・燃料には使用不可)																																												
騒音値(正面1m,高さ1m:無響室換算値) dB(A)	62																																												
輸送振動性能	上下14.7m/S <sup>2</sup> (1.5G)×2.5hr(但し、10~100Hz掃引/5min)																																												
質量 kg	38					41					103					44					47					109					53					56					118				
配線用遮断器(定格電流) A	—					10					—					10					—					10					—														
現地手配品	配線用遮断器(定格電流) A					10(-B以外の機種に必要)																																							
	配線用遮断器以外					タンク(深さ400mm以上のもの)、供給ポンプ、フロートスイッチ、リターンフィルタ																																							

注) ※1.冷却能力は、標準点(入口油温:35°C、室温:35°C、使用油:ISO VG32)における値を示します。製品公差は、約±5%あります。

※2.電源は必ず商用電源を使用してください。インバータ電源などを使用すると焼損することがあります。

また、電圧変動幅は、±10%以内です。電圧変動幅が±10%を超える場合は、別途ご相談ください。

※3.異電圧仕様は、供給電源により-E1,-E2,-E3機の3種類があります。(詳細は、P2を参照ください。)

※4.別売オプション部品の機体同調サーミスタが必要です。

※5.-C機には冷媒R410AのMSDS(製品安全データシート)を付属しています。

※6.配線用遮断器は本製品には付属しておりません。別途お客様にてご用意ください。

※7.従来の1HP相当機種(AKJ106, AKZJ287クラス)は1.2HP相当のAKZJ358に統合しました。

※8.ヒータの電源は単相仕様です。

※9.異電圧仕様の最大消費電力/最大消費電流は下表のとおりです。

### ■AKZJ188

供給電源	電力/電流
380V	1.9A
400V	1.8A
415V	1.7A
440V	1.6A
460V	1.5A
480V	1.5A

### ■AKZJ358

供給電源	電力/電流
380V	3.0A
400V	2.9A
415V	2.8A
440V	2.6A
460V	2.5A
480V	2.4A

### ■AKZJ458

供給電源	電力/電流
380V	3.3A
400V	3.1A
415V	3.0A
440V	2.9A
460V	2.7A
480V	2.6A

### ■AKZJ568

供給電源	電力/電流
380V	5.4A
400V	5.2A
415V	5.0A
440V	4.7A
460V	4.5A
480V	4.3A

### ■AKZJ908

供給電源	電力/電流
380V	6.8A
400V	6.4A
415V	6.2A
440V	5.9A
460V	5.6A
480V	5.4A

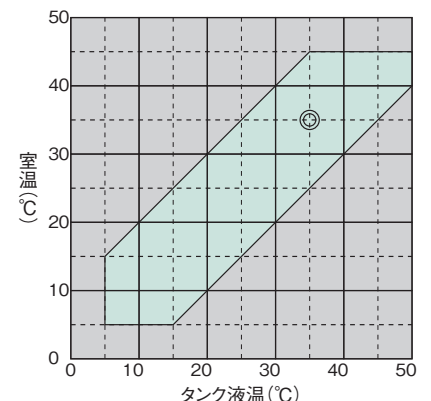
仕様 (AKZJ568・908)

機種名	2.0					3.0				
	AKZJ568					AKZJ908				
	標準	-B	-C	-H	-E *3	標準	-B	-C	-H	-E *3
オイルコン相当馬力 (HP)	2.0					3.0				
冷却能力 (50/60Hz) *1	kW					kW				
ヒータ	kW					kW				
供給電源 *2	3相AC 200/200・220V 50/60Hz					3相AC 200/200・220V 50/60Hz				
回路電圧	主回路					3相AC 200/200・220V 50/60Hz				
	操作回路					DC12/24V				
最大消費電力	200V 50Hz					200V 50Hz				
	200V 60Hz					200V 60Hz				
	220V 60Hz					220V 60Hz				
	220V 60Hz					220V 60Hz				
最大消費電流	200V 50Hz					200V 50Hz				
	200V 60Hz					200V 60Hz				
	220V 60Hz					220V 60Hz				
	220V 60Hz					220V 60Hz				
トランス容量	5kVA					6kVA				
外装色	ホワイト									
外形寸法 (H×W×D) mm	1,450×470×500					1,450×560×710				
圧縮機 (全密封DCスイング式)	1.5kW相当					2.2kW相当				
蒸発器	オープンコイル式									
凝縮器	クロスフィンコイル式									
プロペラファン 電動機	φ400, 90W×4P					φ450, 150W×4P				
攪拌機 電動機	1φ, 50W, 4P									
温度調節 同調形 基準 (選択可能)	室温、あるいは機体温度 *4 (工場出荷時セットは、室温:モード3)									
制御対象	タンク液温									
	同調範囲 K 基準温度に対し、-9.9~+9.9 (工場出荷時セットは、0.0)									
	固定形 制御対象 範囲 °C 5~50									
冷媒制御	インバータによる圧縮機回転数+電子膨張弁開度									
冷媒 (新冷媒:R410A) *5 充填量 kg	1.25					1.65				
保護装置	ファン電動機インナーサーモ・攪拌機インナーサーモ・逆相保護装置・再起動防止タイマー・低室温保護サーモ・高油温保護サーモ・低油温保護サーモ・吐出管温度サーモ・凝縮器温度サーモ・冷媒漏れ検知・インバータ保護装置一式・ノーヒューズブレーカ (-Bのみ) 高圧圧力開閉器 (-Cのみ)・圧縮機保護サーモ (-Cのみ)・加熱防止温度サーモ (-Hのみ)・ヒューズ (-Hのみ)									
使用範囲 室温 °C	5~45									
タンク液温 °C	5~50									
油粘度 mm <sup>2</sup> /s	0.5~200									
使用可能油	水溶性切削・研削液、切削・研削油、潤滑油、油圧作動油、工業用水 (但し、薬品・食品・燃料には使用不可)									
騒音値 (正面1m,高さ1m無響室換算値) dB(A)	65					68				
輸送振動性能	上下14.7m/S <sup>2</sup> (1.5G)×2.5hr (但し、10~100Hz掃引/5min)									
質量 kg	83					132				
配線用遮断器 (定格電流) A	15					20				
現地手配品	配線用遮断器 (定格電流) A 15 (-B以外の機種に必要)					20 (-B以外の機種に必要)				
	配線用遮断器以外 タンク (深さ400mm以上のもの)、供給ポンプ、フロートスイッチ、リターンフィルタ									

- 注) ※1.冷却能力は、標準点 (入口油温:35℃、室温:35℃、使用油:ISO VG32) における値を示します。製品公差は、約±5%あります。  
 ※2.電源は必ず商用電源を使用してください。インバータ電源などを使用すると焼損することがあります。また、電圧変動幅は、±10%以内です。電圧変動幅が±10%を超える場合は、別途ご相談ください。  
 ※3.異電圧仕様は、供給電源により-E1,-E2,-E3機種の3種類があります。(詳細は、P2を参照ください。)  
 ※4.別売オプション部品の機体同調サーミスタが必要ですが、別途お見積りください。  
 ※5.-C機には冷媒R410AのMSDS (製品安全データシート) を付属しています。  
 ※6.配線用遮断器は本製品には付属していません。別途お客様にてご用意ください。  
 ※7.従来の1HP相当機種 (AKJ106, AKZJ287クラス) は1.2HP相当のAKZJ358に統合しました。  
 ※8.ヒータの電源は単相仕様です。  
 ※9.異電圧仕様の最大消費電力/最大消費電流はP5の表をご参照ください。

使用範囲

- 注) 1.◎印は、標準点を示します。  
 2.必ず上記 [ ] の使用範囲内で、ご使用ください。  
 (使用可能範囲外での使用は、故障の原因となります)



# AKZJ8 SERIES

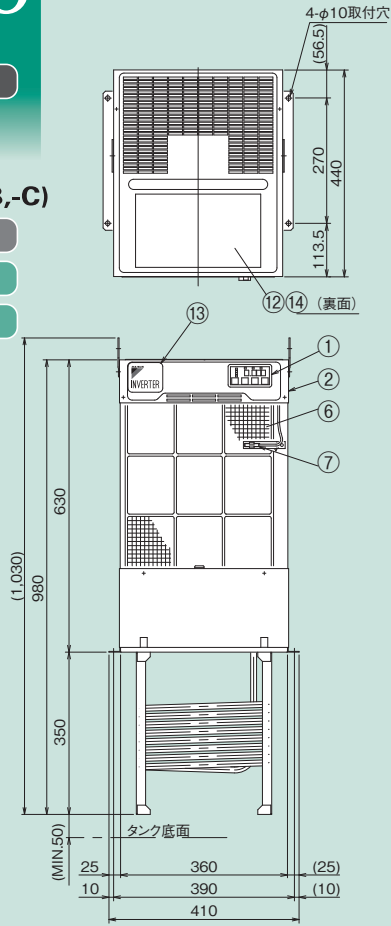
## 外形寸法図

### AKZJ188(-B,-C)

標準仕様

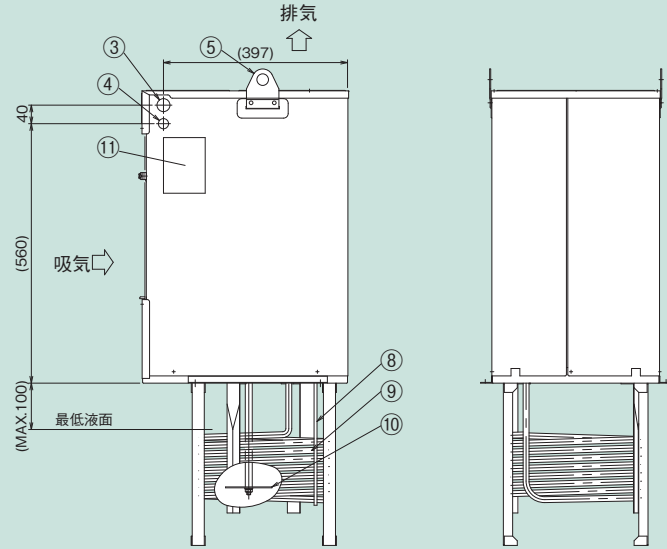
ブレーカ付

CE対応



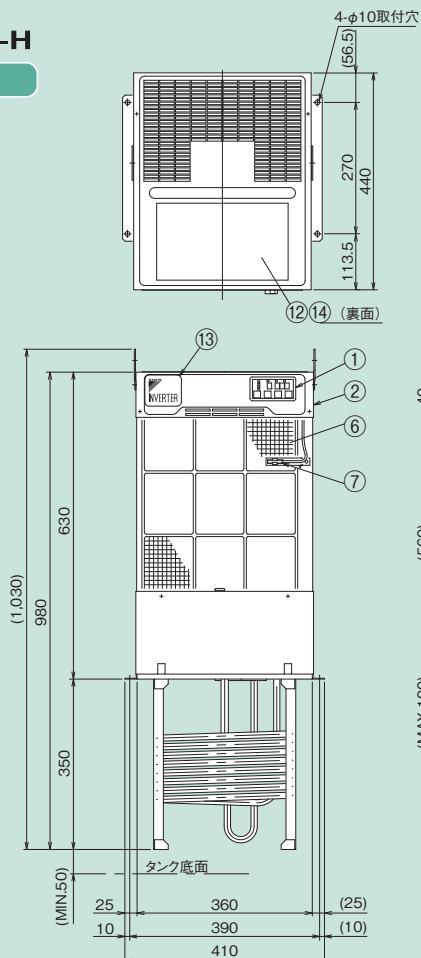
部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	



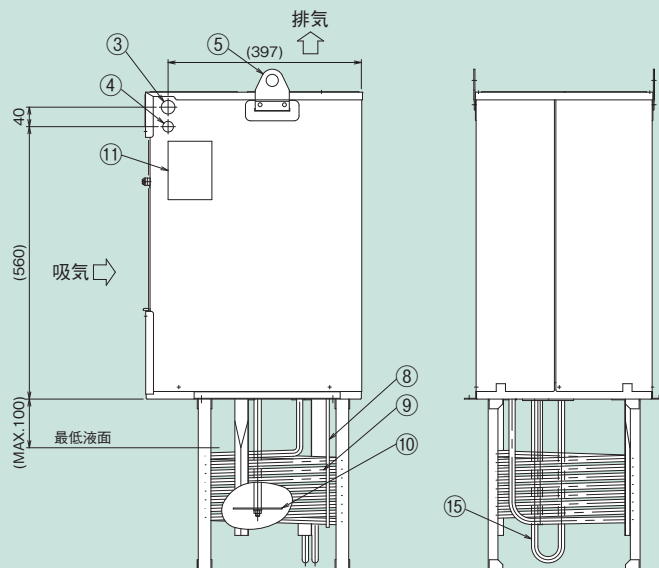
### AKZJ188-H

ヒータ付



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	ヒータ	



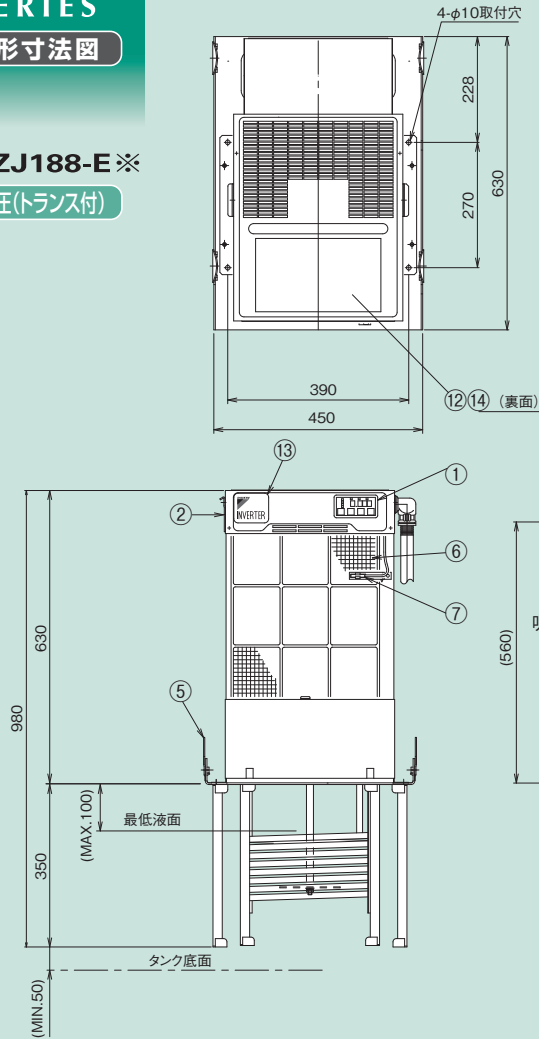


# AKZJ8 SERIES

## 外形寸法図

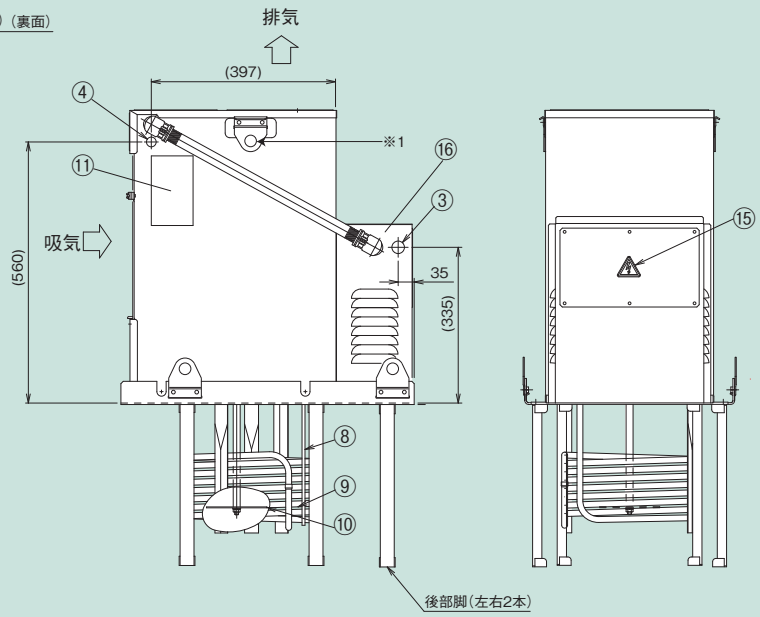
AKZJ188-E※

異電圧(トランス付)



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	充電マーク銘板	
16	トランスボックス	



注) ※1.吊り金具は下部にありますのでこの金具は吊り下げ用に使用しないでください。

●タンクへの取付穴加工寸法は、P25をご参照ください。

# AKZJ8 SERIES

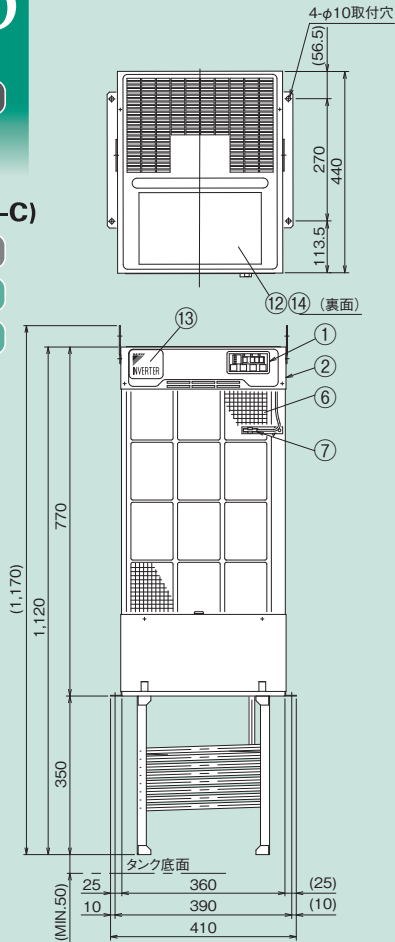
## 外形寸法図

### AKZJ358(-B,-C)

標準仕様

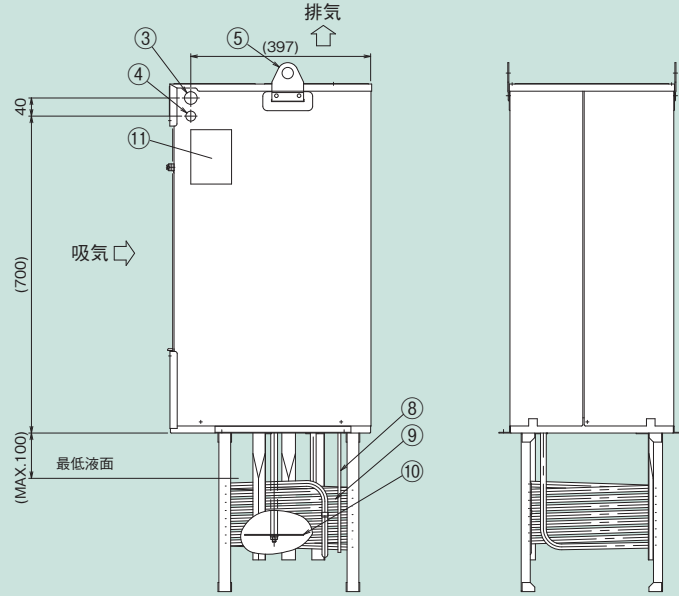
ブレーカ付

CE対応



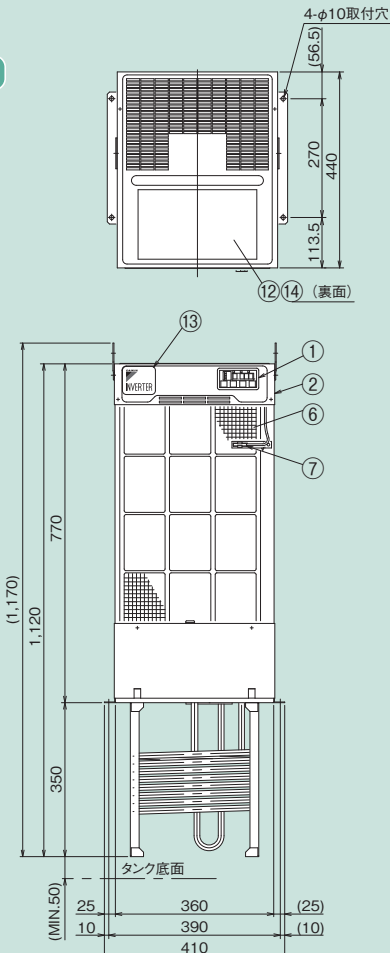
部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	



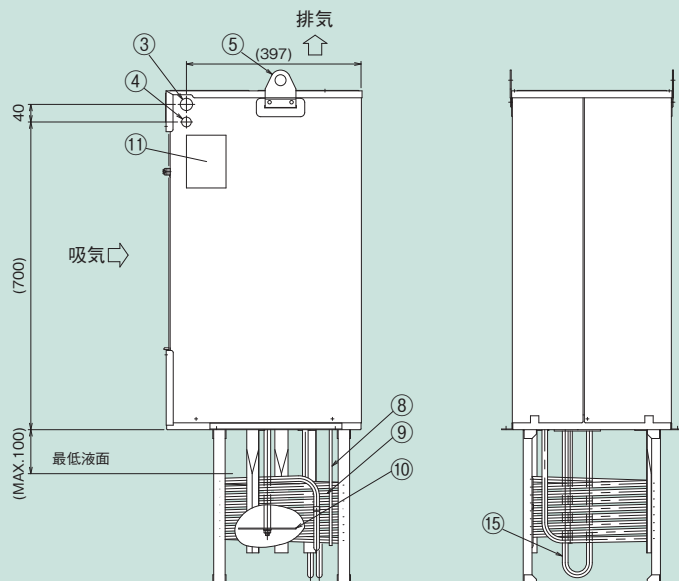
### AKZJ358-H

ヒータ付



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	ヒータ	

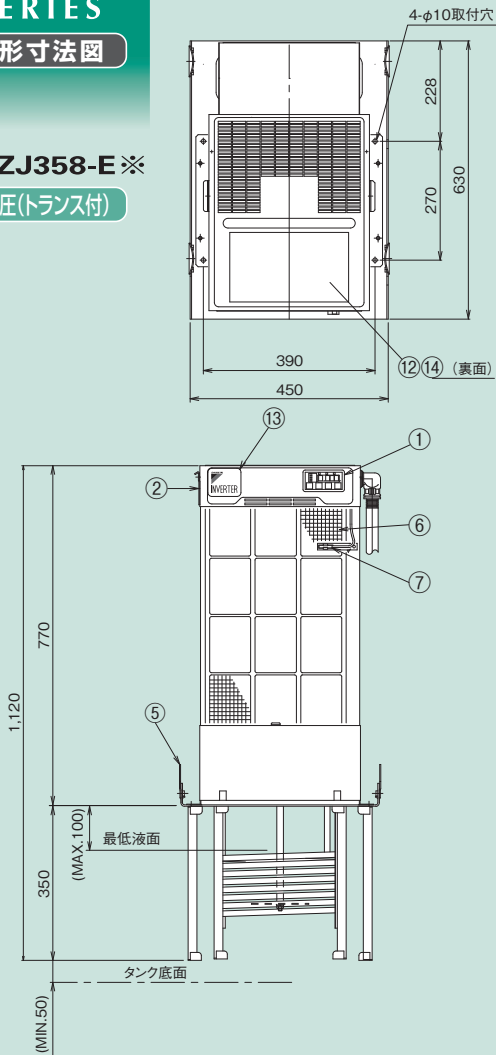


# AKZJ8 SERIES

## 外形寸法図

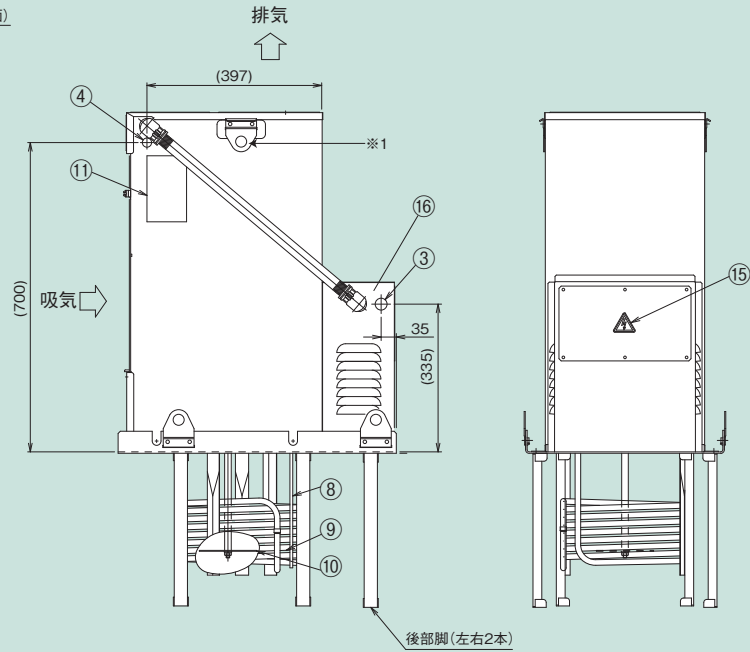
AKZJ358-E※

異電圧(トランス付)



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	充電マーク銘板	
16	トランスボックス	



注)※1.吊り金具は下部にありますのでこの金具は吊り下げ用に使用しないでください。

●タンクへの取付穴加工寸法は、P25をご参照ください。

# AKZJ8 SERIES

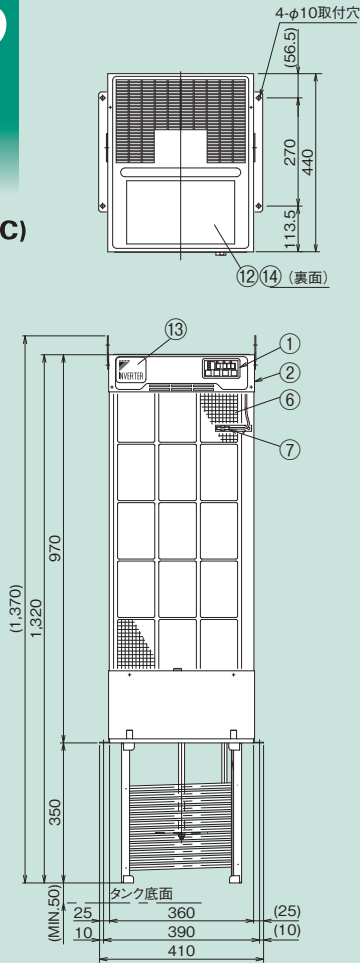
## 外形寸法図

### AKZJ458(-B,-C)

標準仕様

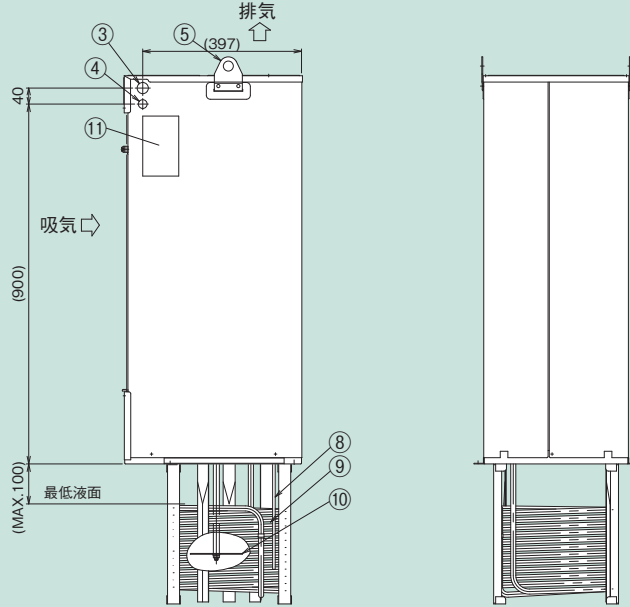
ブレーカ付

CE対応



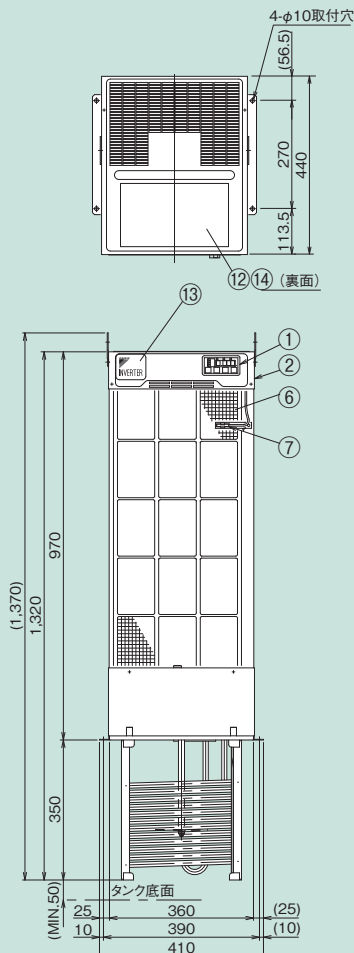
部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	



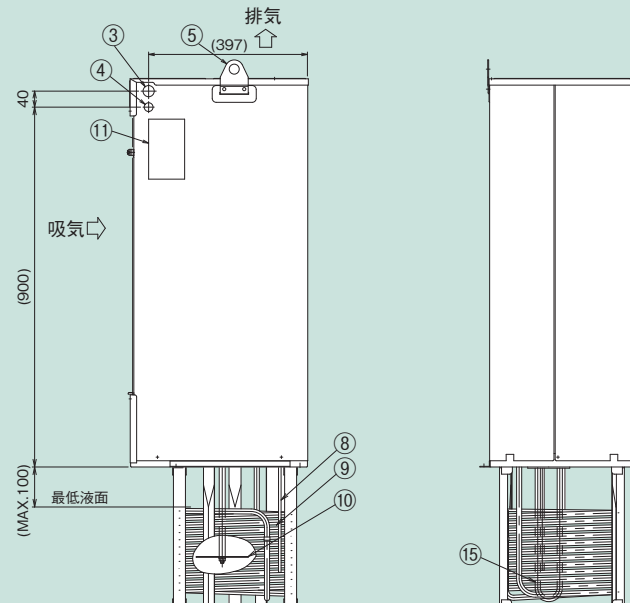
### AKZJ458-H

ヒータ付



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	ヒータ	

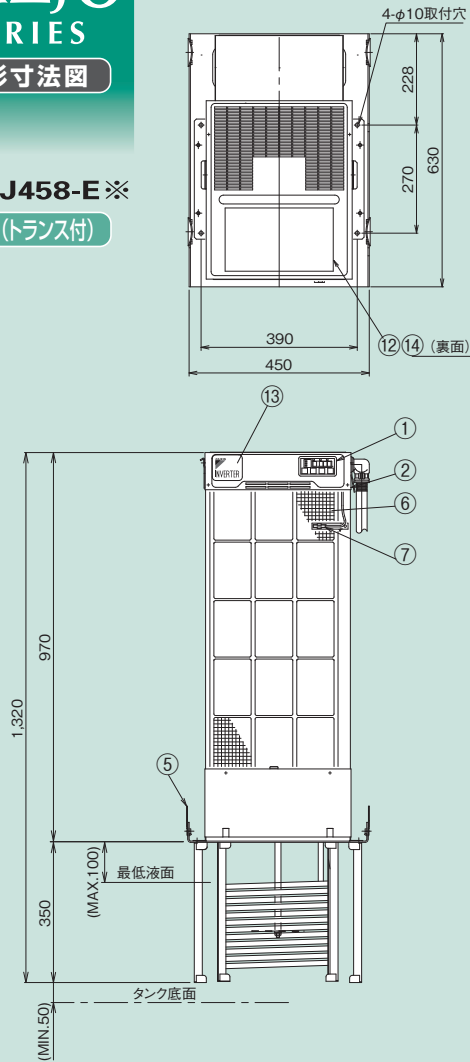


# AKZJ8 SERIES

## 外形寸法図

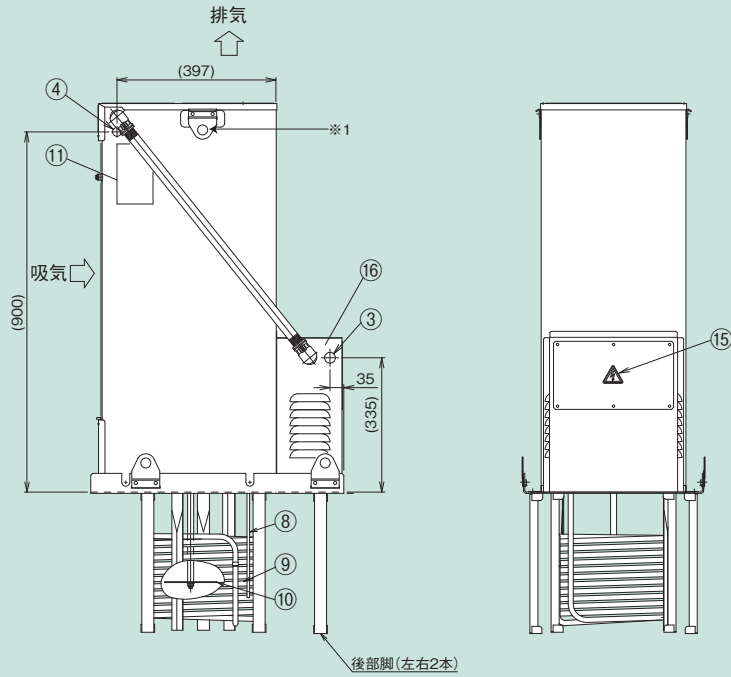
AKZJ458-E※

異電圧(トランス付)



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	天板	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	充電マーク銘板	
16	トランスボックス	



注) ※1.吊り金具は下部にありますのでこの金具は吊り下げ用に使用しないでください。

●タンクへの取付穴加工寸法は、P25をご参照ください。



# AKZJ8 SERIES

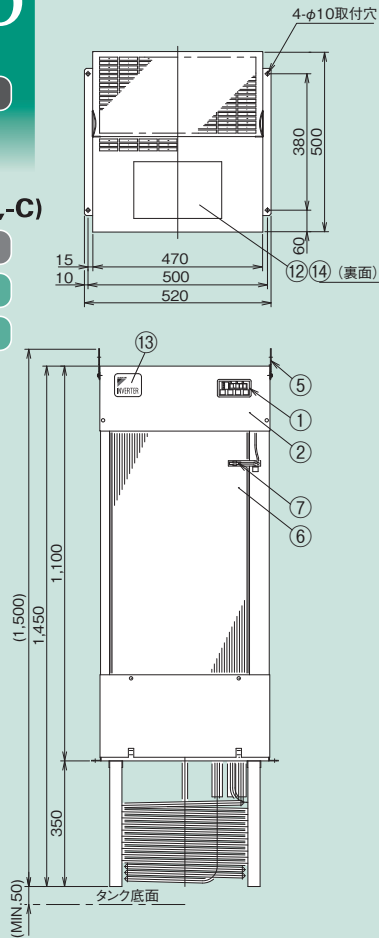
## 外形寸法図

### AKZJ568(-B,-C)

標準仕様

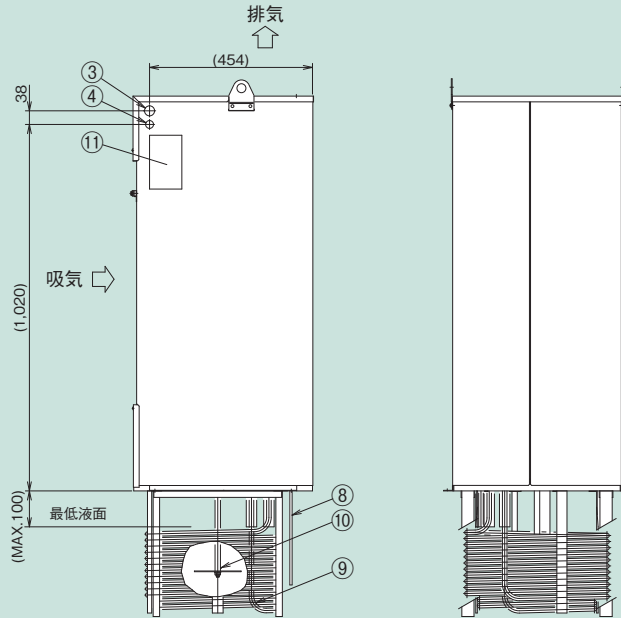
ブレーカ付

CE対応



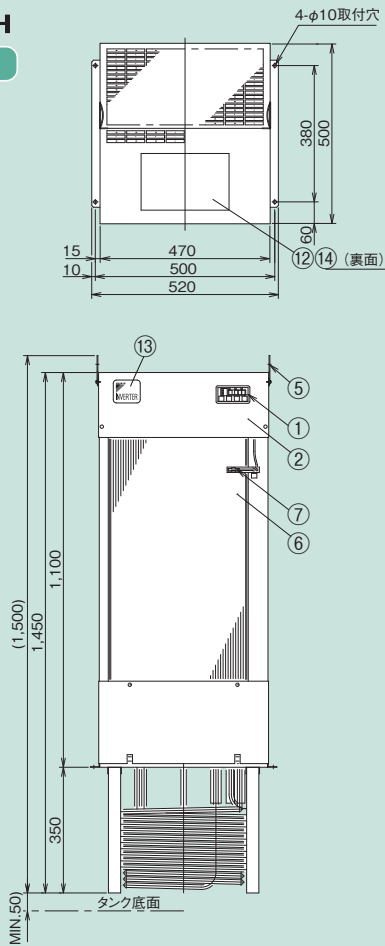
部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	電装品箱蓋	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	



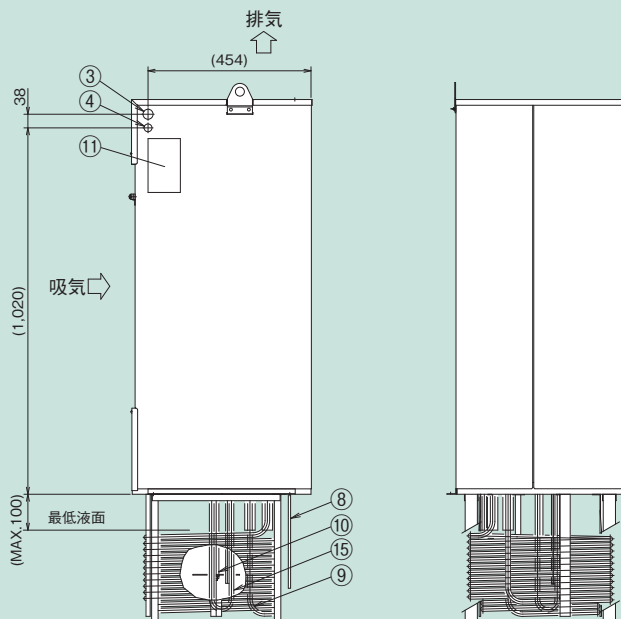
### AKZJ568-H

ヒータ付



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	電装品箱蓋	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	ヒータ	

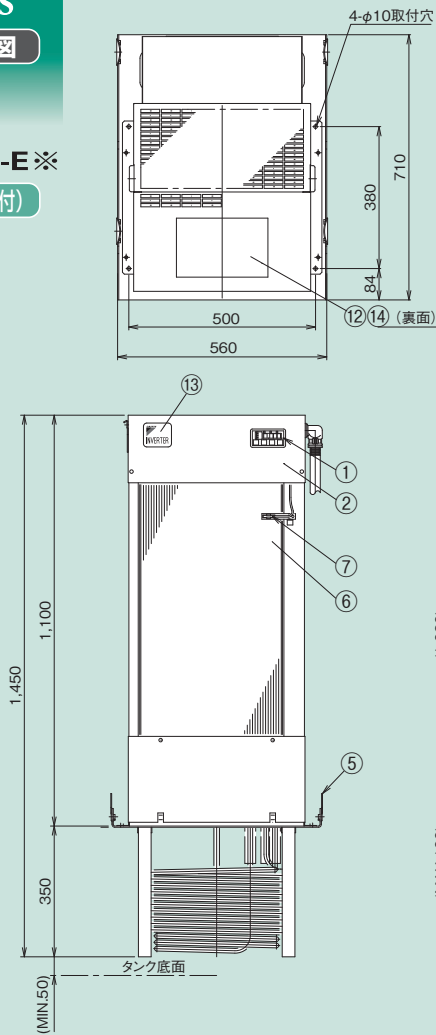


# AKZJ8 SERIES

## 外形寸法図

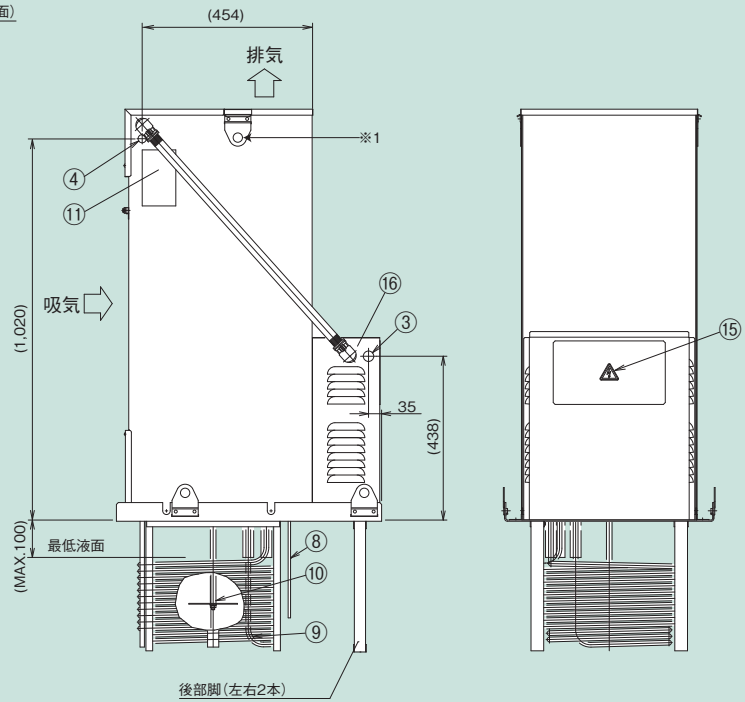
AKZJ568-E※

異電圧(トランス付)



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	電装品箱蓋	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	充電マーク銘板	
16	トランスボックス	



注) ※1.吊り金具は下部にありますのでこの金具は吊り下げ用に使用しないでください。

●タンクへの取付穴加工寸法は、P25をご参照ください。

# AKZJ8 SERIES

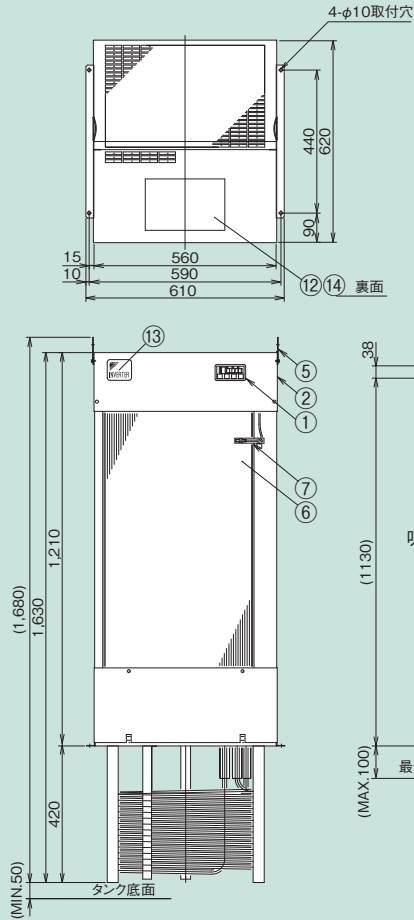
## 外形寸法図

### AKZJ908(-B,-C)

標準仕様

ブレーカ付

CE対応

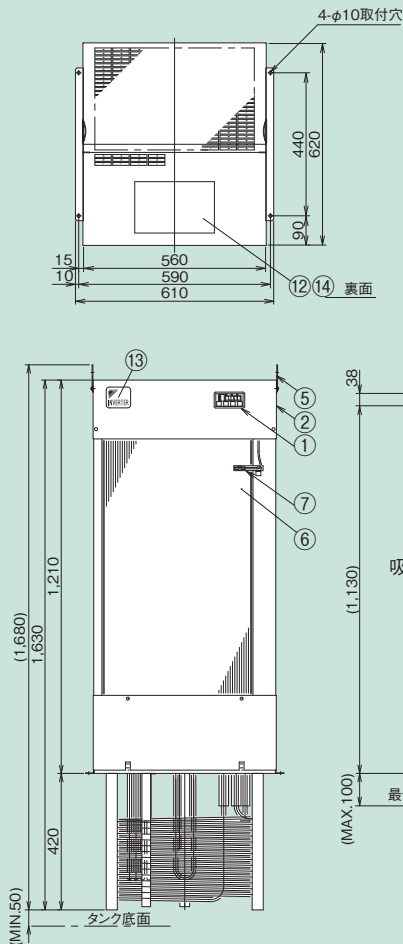


部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	電装品箱蓋	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	

### AKZJ908-H

ヒータ付



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	電装品箱蓋	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	アイプレート	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

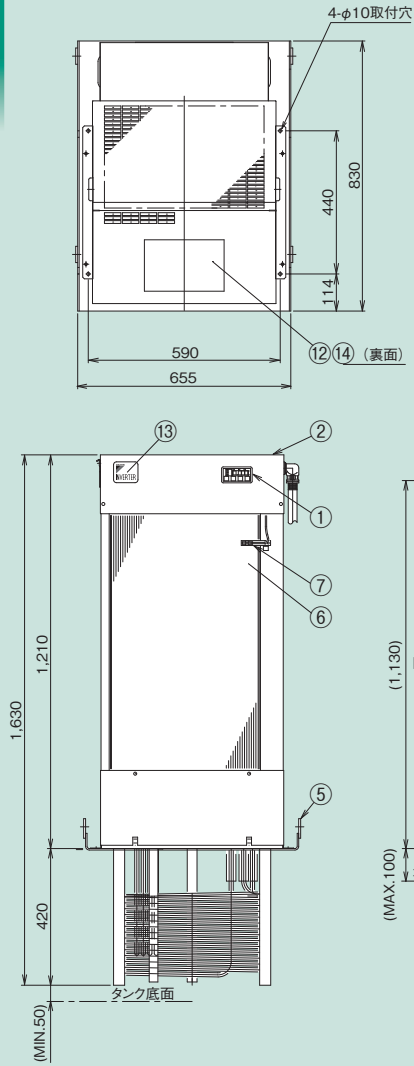
部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	ヒータ	

# AKZJ8 SERIES

## 外形寸法図

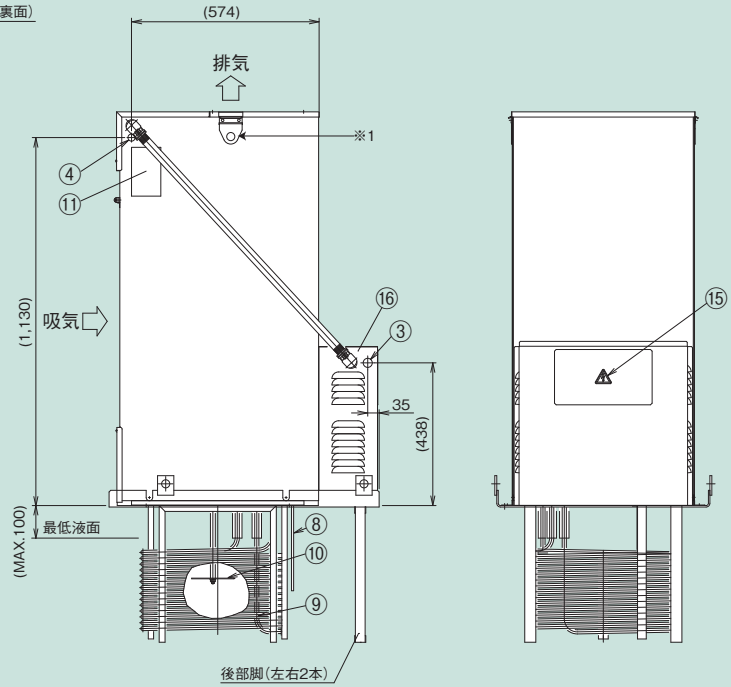
AKZJ908-E※

異電圧(トランス付)



部番	名称	記事
1	コントロールパネル	
2	電装品箱蓋	
3	電源取入口(左・右)	φ28穴
4	信号線取入口(左・右)	φ22穴
5	吊り金具	φ25穴
6	エアフィルタ	
7	室温サーミスタ	
8	液温サーミスタ	
9	冷却コイル	
10	攪拌板	

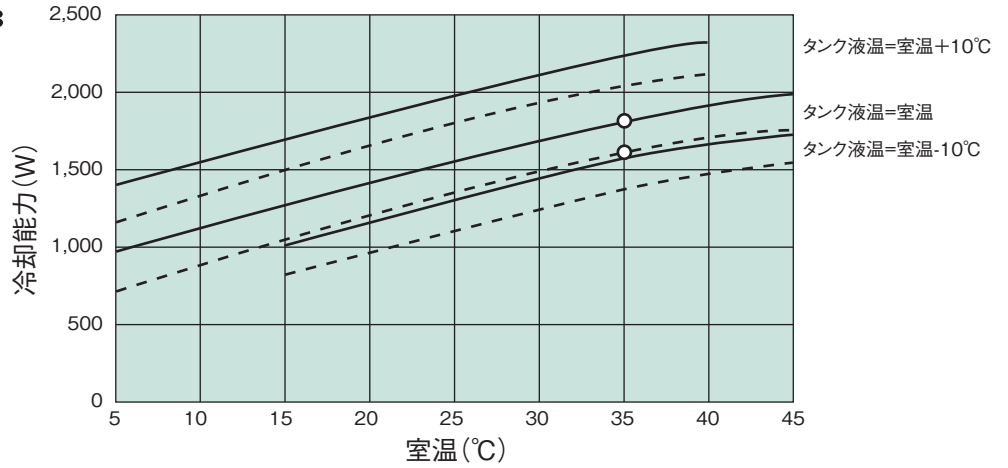
部番	名称	記事
11	機械銘板	
12	総合注意銘板	
13	意匠銘板	
14	電気配線図銘板	
15	充電マーク銘板	
16	トランスボックス	



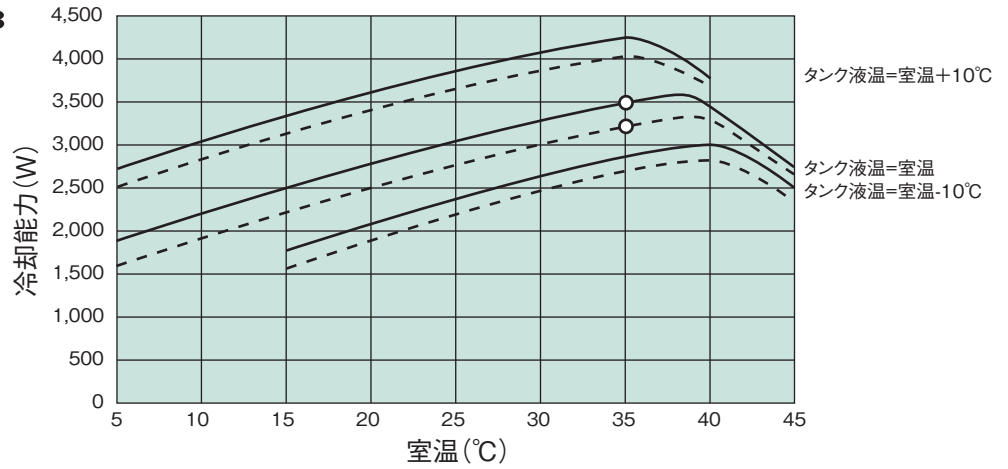
注) ※1.吊り金具は下部にありますのでこの金具は吊り下げ用に使用しないでください。

●タンクへの取付穴加工寸法は、P25をご参照ください。

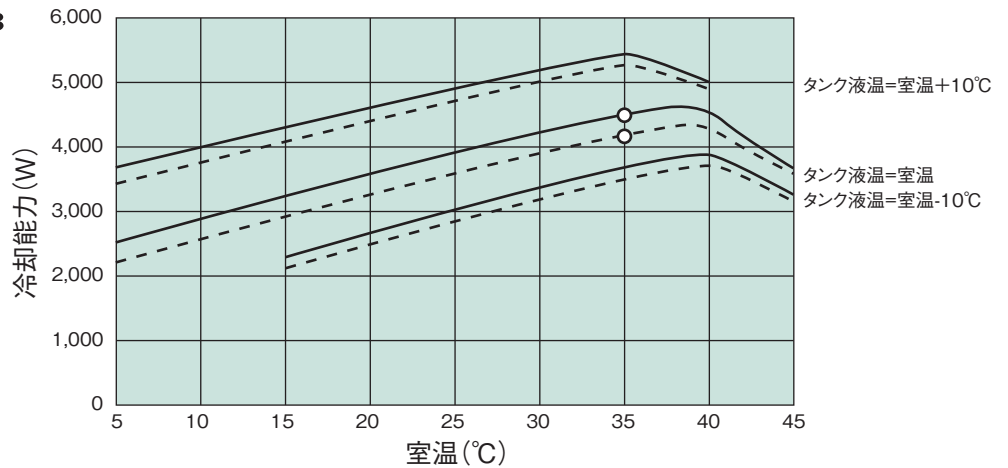
**AKZJ188**



**AKZJ358**



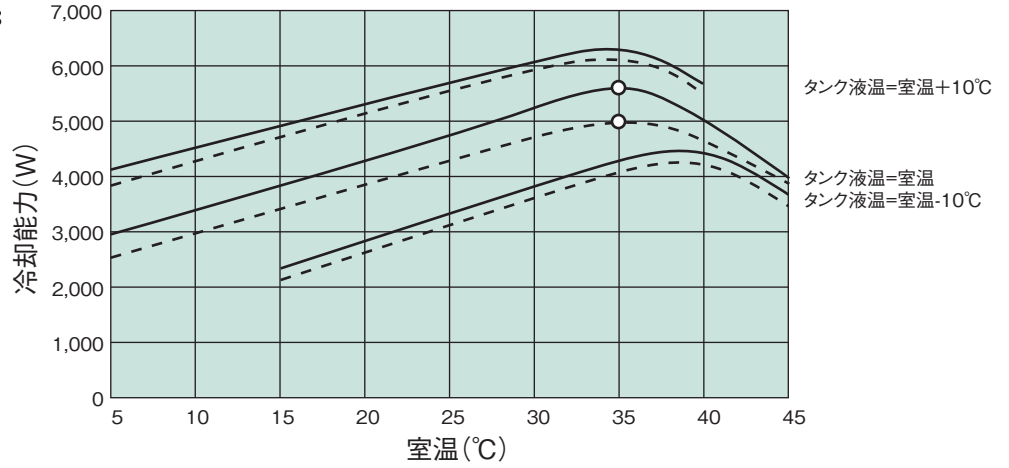
**AKZJ458**



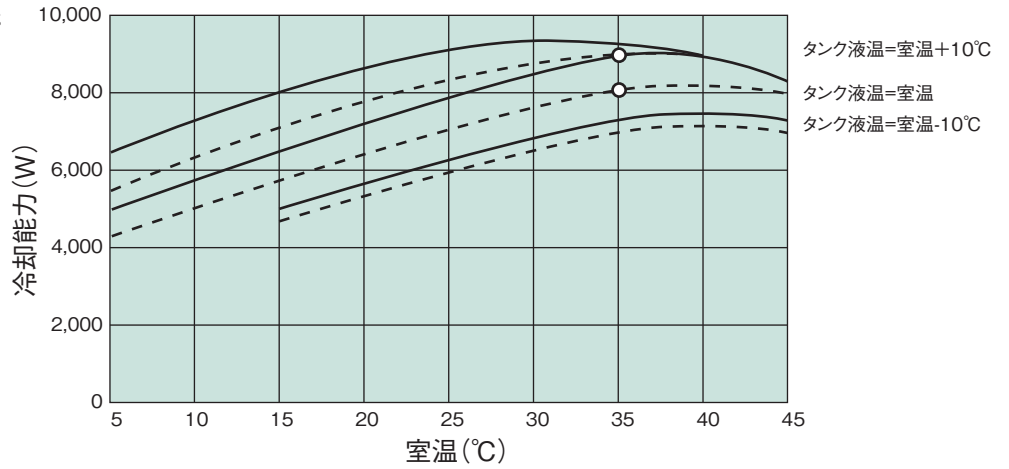


冷却能力特性図

AKZJ568



AKZJ908



■実線 — : 60Hz運転時 ■破線 - - - : 50Hz運転時

1.○印は標準点を示します。(室温:35°C/タンク液温:35°C/使用油:ISO VG32)

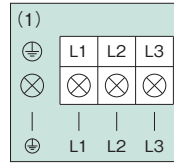
2.冷却能力は室温・タンク液温・油の動粘度等の条件により変化します。

## 電気配線接続要領図

1 電源容量…各形式名の仕様書の最大消費電力/最大消費電流欄を参照ください。

### 2 電源端子台(X1M, Tr)への接続

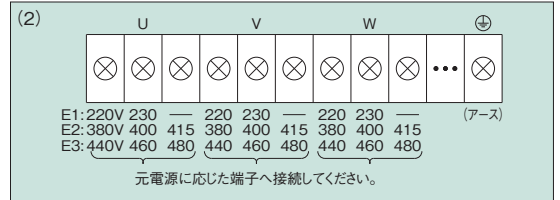
- (1) 標準、メニュー機種(-B, -C, -H, -T, -X)の場合・X1Mに接続してください。
- (2) メニュー機種(トランス付:-E1, -E2, -E3)の場合トランスに付属の端子台に接続してください。



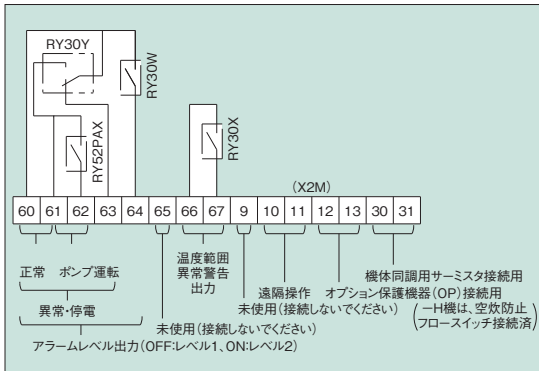
#### 1. ネジ端子及び配線径

シリーズ	ネジ端子	配線径		
		JIS電線	IEC電線	UL電線
AKZJ188,358,458,568	M4	2.0mm <sup>2</sup> 以上	2.5mm <sup>2</sup> 以上	AWG#14以上
AKZJ908	M5	3.5mm <sup>2</sup> 以上	4.0mm <sup>2</sup> 以上	AWG#12以上

2. 丸形圧着端子を使用して接続してください。
3. 端子台が3極で、アースは筐体にネジ止めです。



### 3 信号端子台(X2M)への接続



#### 1. ネジ端子及び配線径

ネジ端子	配線径		
	JIS電線	IEC電線	UL電線
M3	0.25mm <sup>2</sup> ~1.25mm <sup>2</sup>	0.3mm <sup>2</sup> ~1.5mm <sup>2</sup>	AWG#22~#16

2. 丸形圧着端子を使用して接続してください。
3. 電線はヨリ線としてください。
4. IEC電線においてケーブル2芯の場合0.5mm<sup>2</sup>~1.5mm<sup>2</sup>となります。

### 4 信号出力タイムチャート

#### (1) 運転・アラーム状態出力

信号出力	運転状態	リモート(【10】-【11】)状態							
		ON				OFF			
		正常	レベル1異常またはLOCK	レベル2異常	停電(電源OFF)	正常	レベル1異常またはLOCK	レベル2異常	停電(電源OFF)
正常(a接点)	60-61	ON	OFF						
異常-停止(電源OFF)(b接点)	60-63	ON	OFF						
異常レベル(a接点)	60-64	ON	OFF						
ポンプあるいは攪拌機運転(a接点)	61-62	ON	OFF						

#### (2) 温度範囲警告(油温ワーニング)状態出力…別途設定が必要です。

信号出力	運転状態	温度範囲チェック状態							
		設定範囲内				設定範囲外			
		運転正常	レベル1異常またはLOCK	レベル2異常	停電(電源OFF)	運転正常	レベル1異常またはLOCK	レベル2異常	停電(電源OFF)
温度範囲正常(a接点)	66-67	ON	OFF						

### 注意

1. 丸形圧着端子(1.25-3)用端子台で、適応可能電線は下記の通りです。  
単線:φ0.57~φ1.44(AWG#22~#16)  
撚線:0.25mm<sup>2</sup>~1.25mm<sup>2</sup>(AWG#22~#16)
2. 【60~64】、【66~67】の適用可能負荷は下記の通りです。  
最小適用負荷:DC10mV 10μA以上  
最大適用負荷:DC30V 2A(抵抗負荷)
3. 【10】~【13】は最小適用負荷DC12V 5mAを満たす接点を準備願います。
4. 【30】-【31】に接続するサーミスタの長さが10mを超える場合、またはノイズ環境の悪い場所に引き回される場合は、シールド線をご使用ください。

### 危険

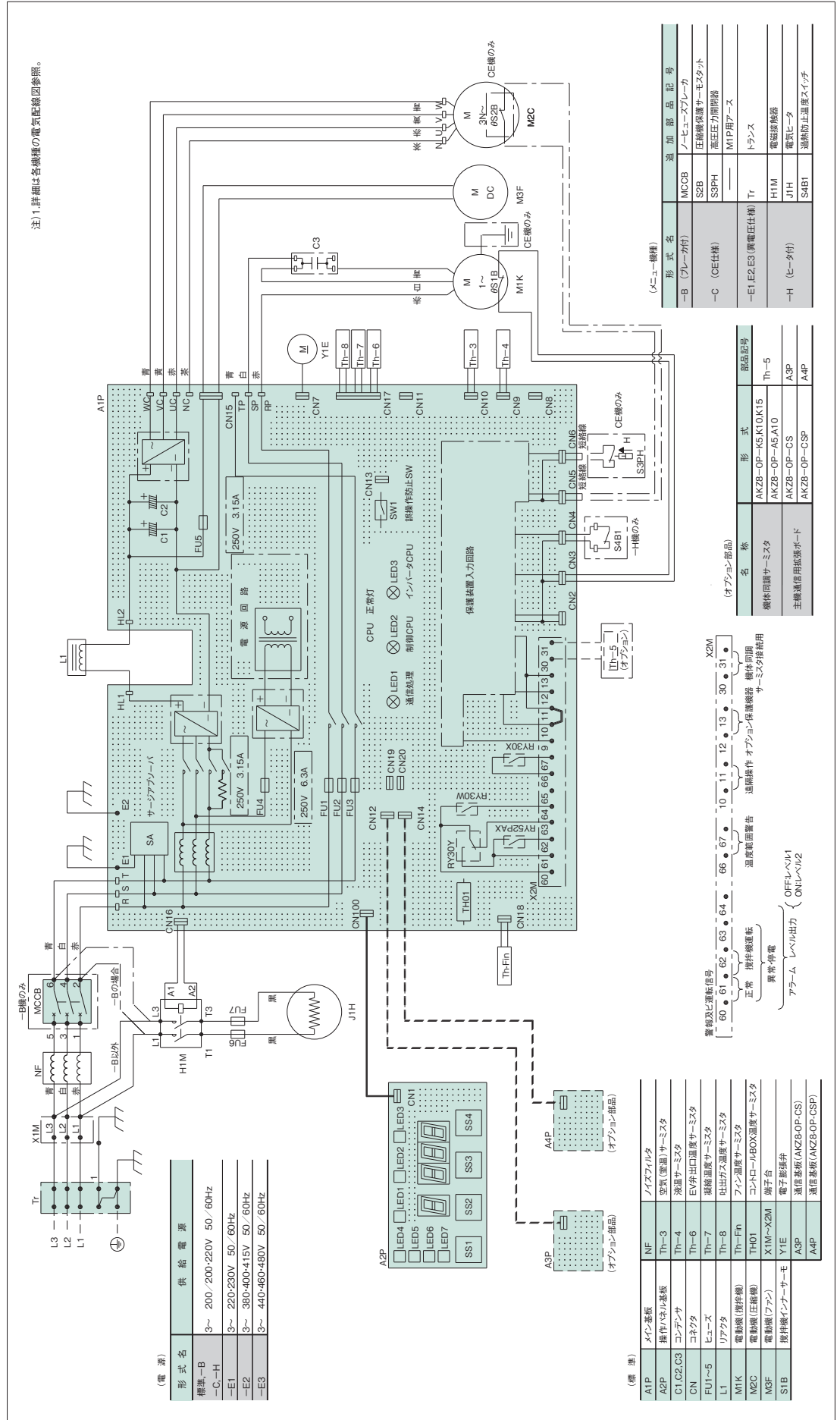
1. 元電源には必ず指定された容量の配線用遮断器(顧客手配)を付けてください。
2. 必ずアース配線を実施してください。ノイズフィルタを搭載しますので、アース接続が無い場合、感電する恐れがあります。
3. 電装品BOXを開ける場合は必ず電源切断して、5分間放置し、内部高電圧の放電が終了した後に行ってください。
4. 電装品BOXを開けたままでの通電は行わないでください。

### 注意

1. ノイズの影響を避ける為、電源線は余剰な線が制御基板などに接触しないように適切な長さで切断して接続してください。
2. 遠隔操作をする場合は、【10】-【11】間の短絡線を除去し、運転スイッチ(顧客手配)を取付けてください。
3. 工場出荷時はLOCKモード(停止モード)に設定されていますので、操作パネルよりLOCK解除操作を行ってください。解除方法は、取扱説明書に記載しております。
4. 本機には、操作パネルよりの設定を受け付けなくなるイタズラ防止スイッチ(SW1)が装備されています。必要な場合は、取扱説明書を参照の上、設定してください。
5. CE対応モデル(-C)は過電圧カテゴリ監の主機の補機に分類されますので設置の際には下記の項目を必ず実施してください。  
・主機制御盤にEN60204-1で要求される主電源遮断器を設置すること。  
・電源は、基礎絶縁(\*)を有するトランスを介して供給すること。  
※基礎絶縁:感電に対する基本的な保護を保障するために充電部に施される絶縁。(IEC規格60335-1による)

電気配線図(代表)

注1 詳細は各機種別の電気配線図参照。



## 取扱い注意事項

### ●主機(工作機械・産業機械)側での重要注意事項

1. 海外輸送等で悪輸送条件が想定される場合は、オイルコン(本機)に過大な外力がかからないように別途梱包仕様や輸送方法等に配慮願います。
2. オイルコン(本機)には、送油確認用フロースイッチや送油温度異常(高温あるいは低温)に対する温度スイッチ等は内蔵していませんので、別途主機側にて「フロースイッチ」および「温度スイッチ」等の主機の保護装置を取付願います。

### 運転および冷却能力に関する注意事項

1. 50℃以上の被冷却液での使用は避けてください。オイルコンは主機と同時に液温が40℃まで上昇する前に運転させてください。
2. 吸気、排気口から500mmの間には通風の妨げになるものを置かないでください。
3. エアフィルタは、目詰まりをおこすと冷却能力が低下します。目詰まりを防ぐために、2週間に1回定期的に洗浄(温水、エア洗浄等)を行ってください。
4. AKZJ8シリーズにおいては、冷却コイル(蒸発器)に切削粉・切削屑が堆積付着すると、冷却能力が低下するとともに故障の原因ともなります。タンクへの戻り(液入口)側には効率の良いリターンフィルタを設置するとともに、冷却コイル部に堆積物が付着しないようにタンク内を定期的に清掃願います。

### 使用可能液に関する注意事項

1. 機種シリーズ毎に、下表に示します。(○印…使用可能、×印…使用不可)
2. 使用できない液体(下表×印)は、絶対に使用しないでください。

	特 記	AKZJ8シリーズ
潤滑油 鋁油系油圧作動油	・消防法に定める第4類危険物のうち第3石油類および第4石油類で、かつ石油製品銅板腐食試験方法(JIS K2513)の変色番号1に相当するもの ・汚染度 NAS 10等級のもの	○
難燃性油圧作動油 ●リン酸エステル系 ●塩素化炭化水素系 ●水-グリコール系(水グリ) ●W/O・O/Wエマルジョン系 (高含水性作動油)	—	×
クーラント液 ●水溶性切削・研削液 ●不水溶性切削・研削油	—	○
エチレングリコール(不凍液)	冷却コイル(蒸発器)材質のSUS304を腐食させる成分のなきもの	○
水(工業用水)		○
燃料などの引火性液体	消防法に定める第4類危険物のうち特殊引火物、アルコール類、第1石油類、第2石油類に相当するもの	×
薬品	—	×
食品用液体	飲料水、食品冷却用途水など	×

## 取扱い注意事項

※製品を実際に取り扱う場合、必ず付属の取扱説明書をお読みになり、十分理解してから取り扱ってください。

## ●安全に関する注意事項

(用語の説明)

- ⚠ 危険…人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されるもの
- ⚠ 警告…人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの
- ⚠ 注意…人が障害を負う可能性が想定される、および物的損害のみの発生が想定されるもの

## ① 一般注意事項

- [⚠ 危険] ① 決められた仕様(カタログ、仕様書、取扱説明書、注意銘板)以外で使用しない。
- [⚠ 危険] ② 爆発性雰囲気の中では絶対に使用しない。
- [⚠ 危険] ③ 製品の分解や修理および改造を行わない。
- [⚠ 危険] ④ 安全に関する法規や規格(労働安全衛生法、消防法、JIS B 8361油圧システム通則)を必ず守ってください。
- [⚠ 警告] ⑤ 冷媒漏れの場合の注意点。
  - ・部屋の換気を十分に行うこと。(窒息の恐れあり。)
  - ・直接皮膚に触れないこと。(凍傷の恐れあり。)
  - ・万一、大量吸入、皮膚に付着、目に入る等で異常の場合は、直ちに医師の診断を受けること。
- [⚠ 警告] ⑥ 異常発生時は直ちに運転を中止し、原因究明の上、適切な処置を行う。
- [⚠ 注意] ⑦ 特殊な雰囲気(高温、多湿、埃・ゴミ・粉塵・水蒸気・オイルミスト・腐食性ガス(H<sub>2</sub>S、SO<sub>2</sub>、NO<sub>2</sub>、Cl<sub>2</sub>等)の多い場所)で使用しない。
- [⚠ 注意] ⑧ 主機には、主軸等を保護するためにフローズスイッチおよび温度スイッチを取付ける。
- [⚠ 注意] ⑨ 製品に乗らない。物を置かない。

## ② 運搬時の危険事項

- [⚠ 危険] ① 製品を吊上げる場合は、質量を確認の上、必ず製品に付属のアイプレートやハンガーを使用して作業する。
- [⚠ 警告] ② 製品の吊上げ運搬時は、絶対に近づかない。
- [⚠ 注意] ③ 製品運搬時は、転倒防止を確実にを行う。
- [⚠ 注意] ④ 運搬時(保管時を含む)は、製品を30°以上傾けない。圧縮機が故障します。

## ③ 据付時の注意事項

- [⚠ 警告] ① 製品は、剛性のある水平な場所に、確実に固定して使用する。
- [⚠ 注意] ② 製品の吸排気口の近くに物を置かない。

## ④ 配線および配管時の注意事項

- [⚠ 危険] ① 専門知識のある人が行う。
- [⚠ 危険] ② 電源は必ず商用電源を使用してください。(インバーター電源などを使用すると焼損することがあります。)
- [⚠ 危険] ③ 電源の結線は、仕様書の電気配線接続要領図および取扱説明書を確認して行う。
- [⚠ 危険] ④ アースは、確実に取付ける。
- [⚠ 警告] ⑤ 配線は、規格に基づき、電気配線図を確認して実施する。
- [⚠ 注意] ⑥ 元電源には、必ずオイルコンの容量に見合った専用ブレーカ(配線用遮断器)を現地で取付ける。
- [⚠ 注意] ⑦ 油配管は、1MPa以上の耐圧があることを確認し確実にを行う。

## ⑤ 試運転時の注意事項

- [⚠ 注意] ① 試運転前に主機の安全状態(動作しないこと)を確認する。
- [⚠ 注意] ② 主機との油配管・電気配線が正しいこと、および各接続部にゆるみがないことを確認する。
- [⚠ 注意] ③ 主機運転前に、製品(本機)の運転ロックを解除する。
- [⚠ 注意] ④ 油配管系統には、必要量の油があること。および配管途中がブロックでないことを確認する。

## ⑥ 運転時の注意事項

- [⚠ 危険] ① 水や各種液体をかけない。
- [⚠ 警告] ② 機器の隙間に指や異物を入れない。
- [⚠ 注意] ③ 製品の排風口は、高温になるため手を触れない。

## ⑦ 保守・点検時の注意事項

- [⚠ 危険] ① 作業は、必ず開放状態で行う。密閉状態では、冷媒漏れにより窒息の恐れあり。
- [⚠ 危険] ② 作業は、必ず元電源を切って行う。
- [⚠ 危険] ③ 電源切断後、5分間は作業しない。
- [⚠ 危険] ④ 製品のカバーを開けた状態で運転しない。
- [⚠ 注意] ⑤ 保守・点検・清掃は、手袋や保護メガネなどの保護具をつけて行う。
- [⚠ 注意] ⑥ エアフィルターは定期的に(2週間に一度が目安)清掃する。
- [⚠ 注意] ⑦ 油の汚染度はNAS10級以内を保つようにしてください。



## オイルコンの選定方法

### 切削・研削液冷却の場合

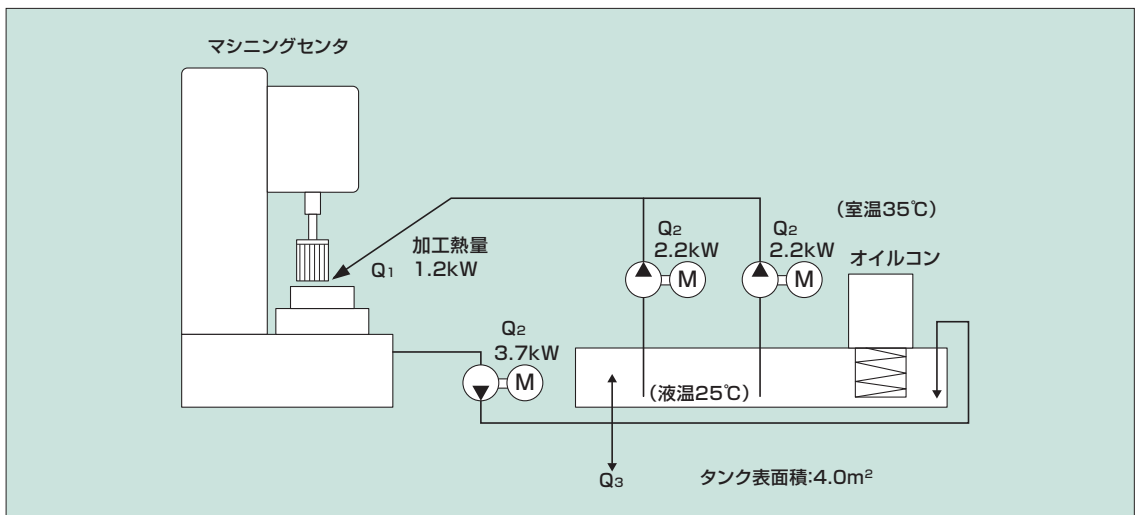
1. 切削液・研削液システムでの発熱量は、一般的にタンクの容量・ポンプ流量が大きいことから下記式により目安をつけ、実機での試験を行うなどして発熱量を明らかにしてオイルコンを選定する必要があります。
2. 発熱量計算の式(概算)

$$Q = Q_1 + Q_2 + Q_3$$

- Q : 工作機械のシステム全体の熱負荷  
 Q<sub>1</sub> : 工作機械の加工熱量  
 Q<sub>2</sub> : クーラントポンプ用ポンプモータの発熱量(クーラント液への熱移動量)  
 :  $Q_2 = \text{ポンプモータ出力(kW)} \times \frac{\eta}{100}$   
 Q<sub>3</sub> : クーラントタンクを介してのクーラント液と室温との熱収支  
 $Q_3 = K \cdot A \cdot \Delta T$     K : 熱通過率(W / m<sup>2</sup>・°C)、一般的にはK=11.6~23.2  
 A : タンク接液部の表面積(m<sup>2</sup>)  
 ΔT : 室温 - タンク内制御液温(°C)

3. 試験については下記の手法により発熱量の確認を行ってください。

### 発熱の目安について



例) 上図において

Q<sub>1</sub>=1.2kWの場合

Q<sub>2</sub>=(2.2+2.2+3.7)× $\frac{50}{100}$ ≒4.1kW(クーラントポンプの場合は、ηは一般的に50%)

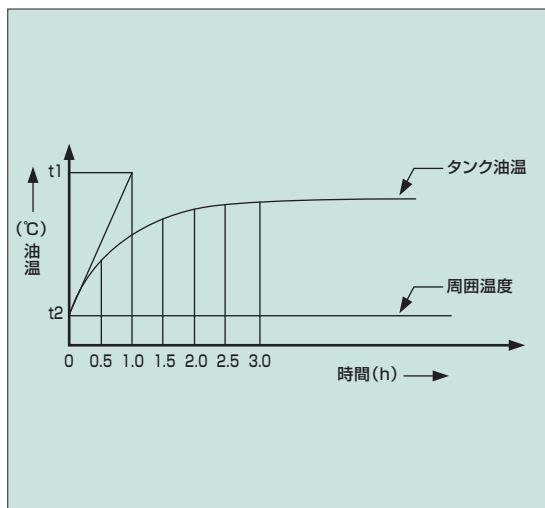
Q<sub>3</sub>=20×4×(35-25) / 1000=0.9kW

∴ Q=Q<sub>1</sub>+Q<sub>2</sub>+Q<sub>3</sub>

=1.2+4.1+0.9

=6.2kW

### ●手法：タンクの油温上昇率から発熱量を推定



油温上昇は最大勾配を見つける。

(Δt は、最大勾配を見つけるために、最初の10分までは1分毎の測定が必要です。)

$$Q = 2.778 \times 10^{-7} C_p \cdot \gamma \cdot V \cdot \Delta t / H$$

Q : 発熱量(kW)

C<sub>p</sub> : 定圧比熱(J/kg°C)…1967.4J/kg°C

γ : 比重(kg/m<sup>3</sup>)…876kg/m<sup>3</sup>

V : total 油量(m<sup>3</sup>)

Δt : 温度差(°C)…t<sub>1</sub>-t<sub>2</sub>

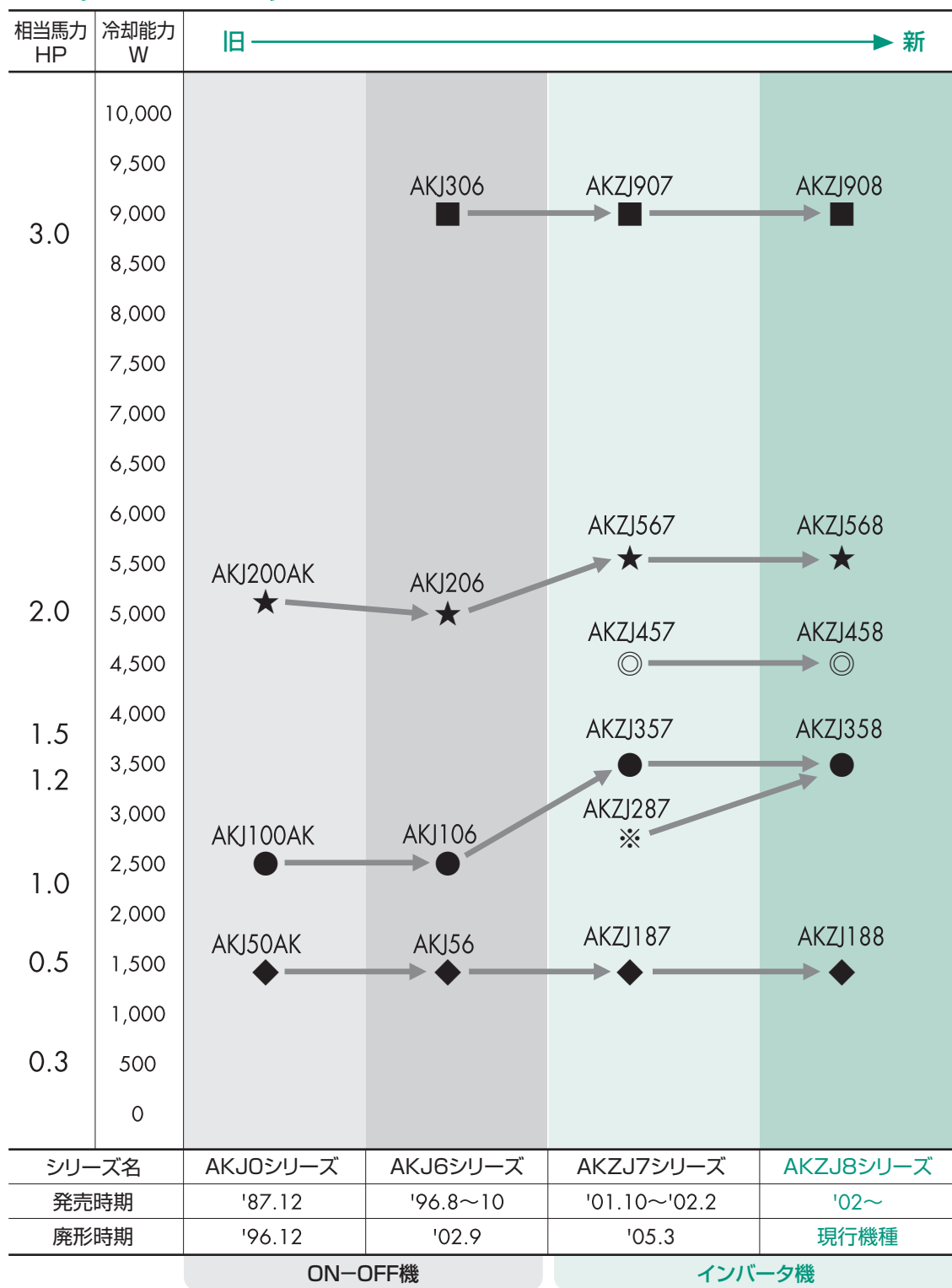
H : 時間(h)

例) total 油量が300ℓ (0.3m<sup>3</sup>)、Δtが10°Cの場合

$$Q = 2.778 \times 10^{-7} \times 1967.4 \times 876 \times 0.3 \times 10 = 0.479 \times 0.3 \times 10 \div 1.4 \text{ kW}$$

切削・研削油(液)用オイルコン来歴表(浸漬形)

AKJ→AKZJ



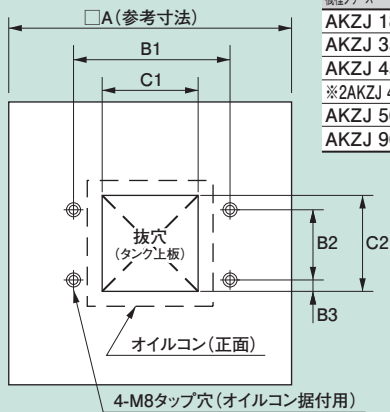
注) 1.形式の下一桁の数字が大きいかほど新しいシリーズです。(ex:AKJZ357よりAKZJ358の方が新形)  
 2.冷却能力は全機種標準点および60Hzでの値で示しています。  
 3.実際には、新旧品の寸法が変更になっている機種もありますので、カタログ、仕様書(外形図)の寸法をご確認の上選定願います。  
 また、現在ご使用の製品が故障等で新しく購入される場合は、現状をよくご確認の上機種選定を願います。  
 4.2002年より全機種インバータ機仕様となっています。  
 5.AKZJ“ア”シリーズは新冷媒R407C、AKZJ“B”シリーズは新冷媒R410A、それ以外の機種は全てR22です。  
 6.従来の1HP相当機種(AKJ100AK、AKJ106、AKZJ287)クラスは1.2HP相当のAKZJ358に統合しました。

## タンクへの据付基本例

### ●タンク製作上のポイント

- 1.液槽は、少なくとも3槽に仕切りオーバーフロー方式で、切削粉、切削屑等の異物が直接、吸入ラインに入らないようにしてください。
- 2.主機から高温の戻り液と、オイルコンで冷却された低温の液が均一に混同されるよう、仕切り板および配管位置を十分考慮願います。
- 3.タンク内の清掃が容易にできる構造(例えばタンク上板取外し方式等)としてください。
- 4.タンク材質・・・SUS 製を推奨しますが、冷却液との適合性を十分検討願います。  
(研削液タンクとして、SS材質にタンク内面塗装(エポキシ樹脂系)での使用例もあります。)

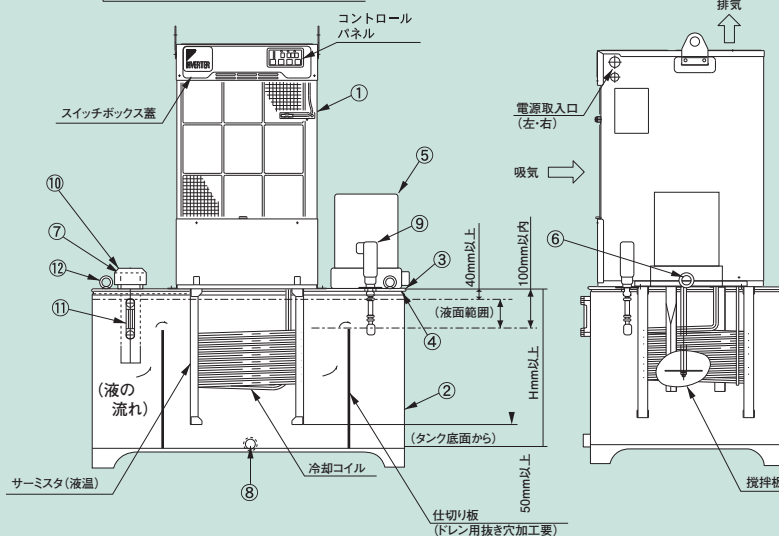
### ●据付タンク加工寸法(平面図)



機種シリーズ	大きさ		タンク穴ピッチ			抜き穴		取付互換性(○:あり,×:なし)	
	A	H	B1	B2	B3	C1	C2	対 現行機種	対 旧機種
AKZJ 188	600以上	400以上	390	270	15	325	325	※1 ○ AKZJ187	※1 ○ AKJ56
AKZJ 358								※1 ○ AKZJ357	※1 ○ AKJ106
AKZJ 458								—	—
※2AKZJ 458-7	700以上		500	380	22	440	440	○ AKZJ457	—
AKZJ 568								○ AKZJ567	※3 × AKJ206
AKZJ 908	800以上	500以上	590	440	30	500	500	○ AKZJ907	※3 × AKJ306

- 注) ※1. 現行・旧機種に対し、新機種のAKZJ188および358は、前方向に約50mm出ます。(前方障害物有無の確認が必要です。)  
 ※2. AKZJ458-7 は、現行機種AKZJ457 との取付専用互換機種(アタッチメント付)です。  
 ※3. 取付互換性欄×につきましては、現地タンクの改造および別途、下記のアタッチメントが必要です。

旧機種	現行機種	アタッチメント形式
AKJ 206	AKZJ 568	AKZJ8-OP-PL568
AKJ 306	AKZJ 908	AKZJ8-OP-PL908

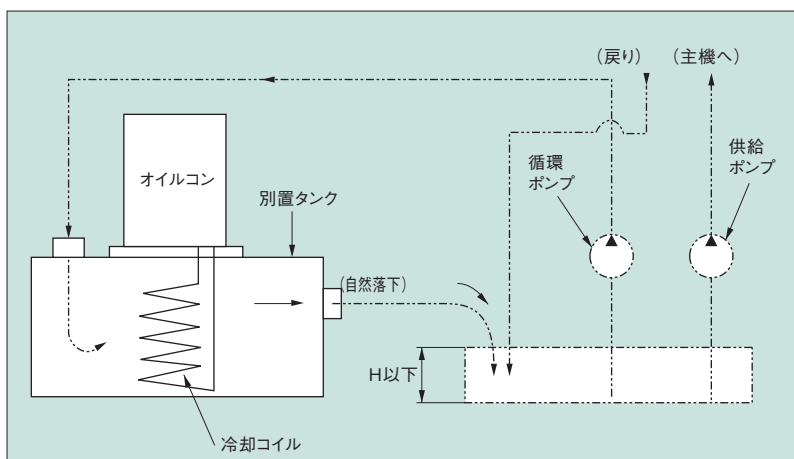


部番	名称	一式分個数
1	オイルコン	1
2	タンク本体	1
3	タンク上板	1
4	タンクパッキン	1
5	供給ポンプ	1
6	吐出口	1
7	戻り口	1
8	タンクドレン	1
9	フロートスイッチ	1
10	注油口兼エアブリーザ	1
11	油面計	1
12	吊りボルト	4

- 注) 1: 液面はタンクの上板より60~100mmになるようにしてください。  
 2: 冷却コイルを液面より上に露出させないでください。  
 3: 仕切り板高さは液面範囲の最低液面以上の高さにして下さい(上面から100mm以内)

注) 部番2~12は弊社制作外です。

### ●別置形 タンク深さが上表のH寸法以下の場合



- 注) 1. 切削粉、切削屑等の異物混入が予想される時は、供給または戻りラインに効率の良いフィルタを取付願います。  
 注) 2. 冷却コイル表面に切削粉、切削屑等の異物が堆積付着しますと、冷却能力が低下するばかりでなく、故障の原因ともなります。

## オイルコンの『フロン回収破壊法』への対応について

- ◆ダイキングループは、地球環境の保全に向けて積極的に行動します。
- ◆ダイキンフロン回収、運搬、破壊システムの構築により、全国ネットワークで迅速対応します。
- ◆お問い合わせ、および回収ご依頼の受付は24時間対応のダイキンコンタクトセンターまで。

『フロン回収破壊法』という法律が平成14年4月1日より施行されております。本法律(=特定製品に係るフロン類の回収および破壊の実施の確保等に関する法律)はオゾン層の保護と地球温暖化を防止するための法律であり、製品をご使用の事業者様等に回収・破壊に係る義務が生じる事になります。

ここで言う、特定製品には、第一種(業務用冷凍空調機器関係)と第二種(カーエアコン)があります。オイルコンは法の主旨、内容からしまして、第一種のうち、「その他の冷凍機応用装置」に該当します。従いまして、平成14年4月1日以降、国内市場の全てのオイルコンは、既設、新設にかかわらず、また冷媒の種類(従来冷媒のR22や、新冷媒のR407C、R410A)にかかわらず対象となります。

事業者様(オイルコンのユーザ様)におかれましては、法律の遵守が必要です。(違反者には1年以下の懲役又は50万円以下の罰金の罰則規定がありますので、注意をお願いします。)

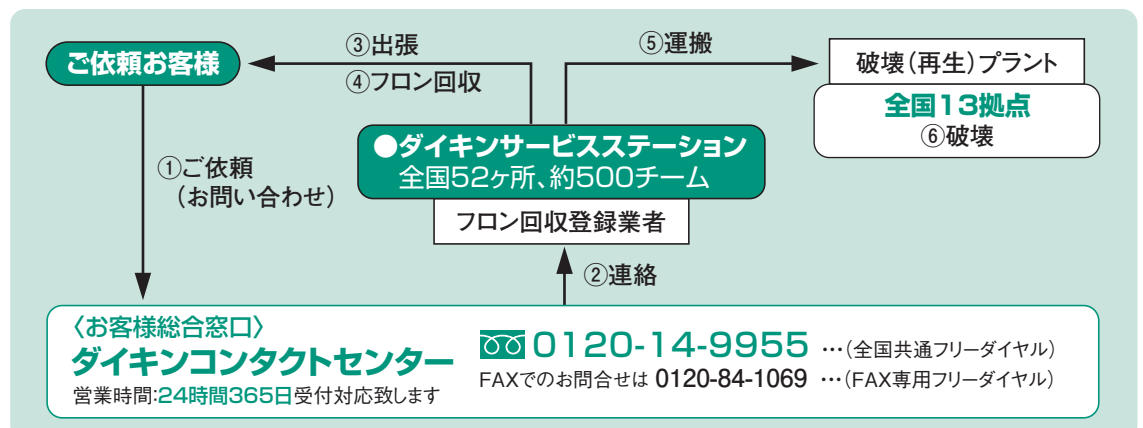
### 具体的な義務および対応

お客様の義務 (特に主機メーカー様および エンドユーザ様)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①オイルコン(製品)より、フロン類をみだりに大気中に放出することが禁止されます。</li> <li>②オイルコン(製品)を廃棄する場合には、必ず都道府県の登録を受けた第一種フロン類回収業者による、フロン類の回収(有料)が必要となります。</li> <li>③平成19年10月1日より「行程管理制度(フロン類の引渡しの特任等)を書面で管理する制度)が導入されます。 オイルコンを廃棄する際は、フロン回収徹底のため、引渡しの経緯を書面で管理することになりました。なお、整備(メンテナンス・修理)時は書面で管理する必要がありません</li> </ul> <p>(備考)すでにエンドユーザ様をご使用されている製品(オイルコン)については、下記の「フロン回収破壊法」注意銘板(ラベル)の表示義務はございません。</p>
オイルコンメーカー(ダイキン工業)としての製品への義務	○義務:「フロン回収破壊法」注意銘板(ラベル)の貼付
オイルコンメーカー(ダイキン工業)としてのPR対応	○オイルコンの製品仕様書やカタログに、「フロン回収破壊法」に関する記載を行い、お客様に対して法遵守義務のPRをいたします。

ダイキンフロン回収システムの概要と、その受付総合窓口(ダイキンコンタクトセンター)を下記に記載します。弊社では、自社製品に限らず、他社様の第一種特定製品につきましてもフロン回収をいたしますので、下記のダイキンコンタクトセンターまでご連絡ください。

### ●ダイキンフロン回収(破壊)システムの概要

- まず、ダイキンコンタクトセンターにご連絡ください。
- 弊社は、全国ネットの冷媒回収チーム(ダイキングループで約500チーム)が、安価な出張費にて現地まで伺います。お客様がわざわざ高い費用(梱包・積み込み・輸送費等)をご負担の上、製品を弊社まで返送していただく必要はございません。
- 下図の①から⑥のステップにて、対応いたします。



- (注記) ●フロン回収後のオイルコン(製品)本体の廃棄処分は、従来通り現地ユーザ様にてお願いすることになります。  
(弊社は、製品本体の廃棄処分は行っておりません。)
- フロン回収(破壊)料金は有料になります。ダイキンコンタクトセンターまでお問い合わせください。



OIL COOLING UNIT  
AKZJ SERIES

加工設備から空調設備、電力監視システムなど、工場省エネのことは、ダイキングループにお任せください。  
工場全般のトータルな解決策をご提案いたします。

**ダイキン工業株式会社** 油機事業部

ホームページ <http://www.daikinpmc.com/>

**営業窓口** **ダイキン油機エンジニアリング株式会社**

ホームページ <http://www.daikinpmc.com/dhe/>

■東日本

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12番20号 日本橋T&Dビル  
☎(03)5643-0255 FAX.(03)5643-0263

■中部日本

〒463-0036 愛知県名古屋守山区向台3丁目807番  
☎(052)726-9355 FAX.(052)726-9377

■西日本


〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目21番3号 ダイキン工業江坂ビル  
☎(06)6378-8762 FAX.(06)6378-8764

●当カタログに記載の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

**ダイキンコンタクトセンター**

お客様総合窓口

最初に「186」をダイヤルしていただくと折り返しの連絡等がスムーズに行えます。

 **0120-14-9955** ……全国共通フリーダイヤル  
FAXでのお問い合わせは **0120-84-1069** ……FAX専用フリーダイヤル

〈営業時間〉

●24時間365日受付対応致します

〈対応業務〉

●油圧機器の補用部品手配、サービスに関する  
ご相談・お問い合わせ

●フロン回収に関するご相談・お問い合わせ

